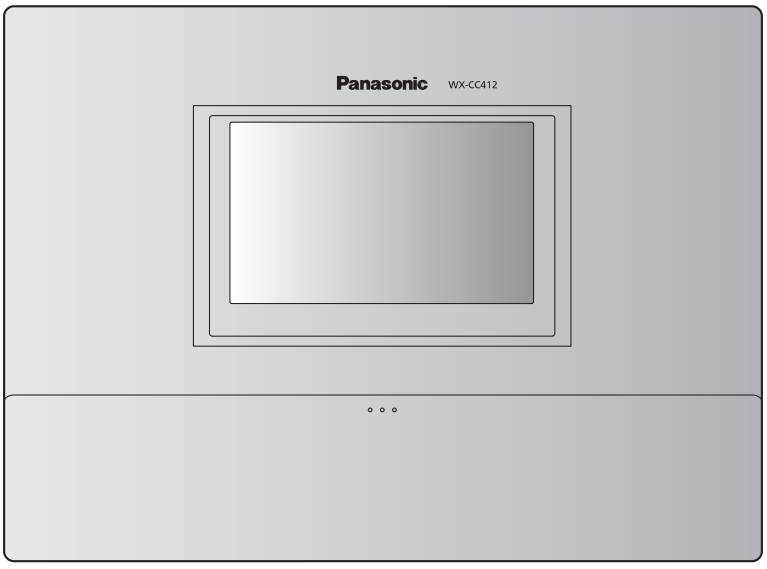
Panasonic

取扱説明書 設定編

センターモジュール

品番 WX-CC411
WX-CC412



はじめに

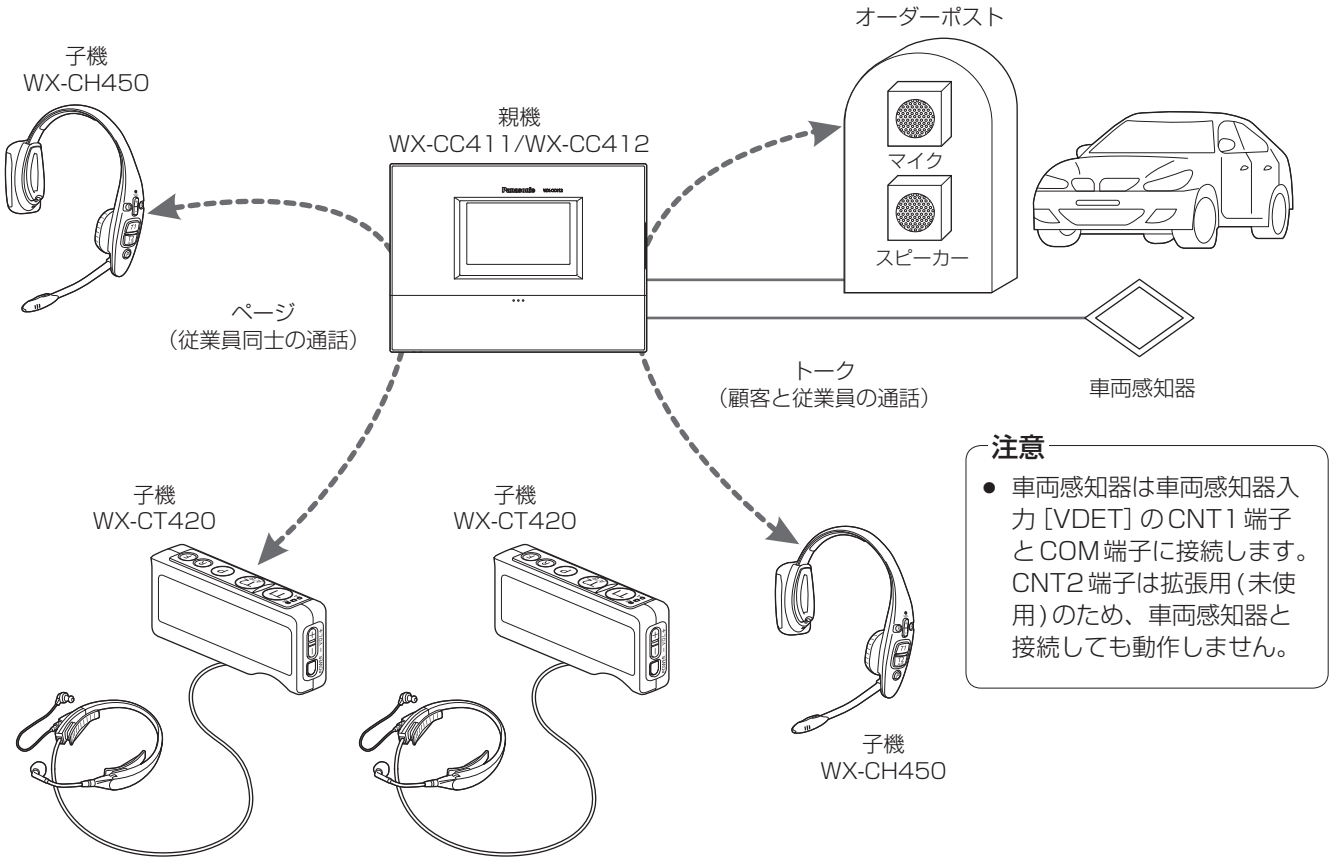
■商品概要

センターモジュールWX-CC411、WX-CC412は、ドライブスルー型店舗で使用されるワイヤレスインターカムシステムの親機です。

- WX-CC411はドライブスルー店舗のシングルレーンに、WX-CC412はデュアルレーンに対応します。
- 1.9 GHz帯DECT※準拠方式を採用することにより、広いエリアで明瞭な会話ができ、干渉を受けることが少なく安定した通信ができます。
  ※DECT（Digital Enhanced Cordless Telecommunications）：デジタルコードレス電話の通信規格
- 強力なエコーキャンセラーとデジタルノイズリダクションにより、高い音声の明瞭度が得られます。
- キャビネットは壁掛けに対応しており、簡単に設置できます。
- 1台あたり32台の子機を登録できます。また、1レーンあたり4人同時に通話が可能です。
- タッチパネル付 7型液晶画面を持ち、簡単に操作できます。
- イーサネットでIPネットワークに接続し、リモート操作が可能です。
- SDカードで設定内容のバックアップとリストア、店舗独自のメッセージの保存ができます。
- スケジューラを内蔵しており、指定した時間にグリーターメッセージを差し替えたり、リマインダーメッセージを自動的に再生することができます。
- 弊社製ネットワークカメラを4台まで登録し、その映像を本機の液晶画面で確認することができます。
- アラート信号を受け取ってアラートメッセージを子機に通知したり、外部デバイスに信号を出力したり、アラートEメールを外部に送信することができます。

■システムイメージ図

センターモジュールと子機が無線接続することで、子機同士、または子機とオーダーポストにいる顧客との通話ができます。



注意

- 車両感知器は車両感知器入力［VDET］のCNT1端子とCOM端子に接続します。CNT2端子は拡張用（未使用）のため、車両感知器と接続しても動作しません。

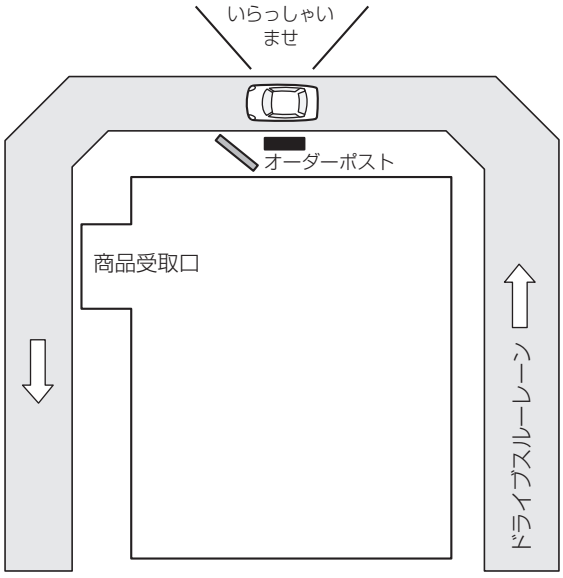
はじめに

■運用について

本システムでは、以下のドライブスルーに適した運用をサポートします。

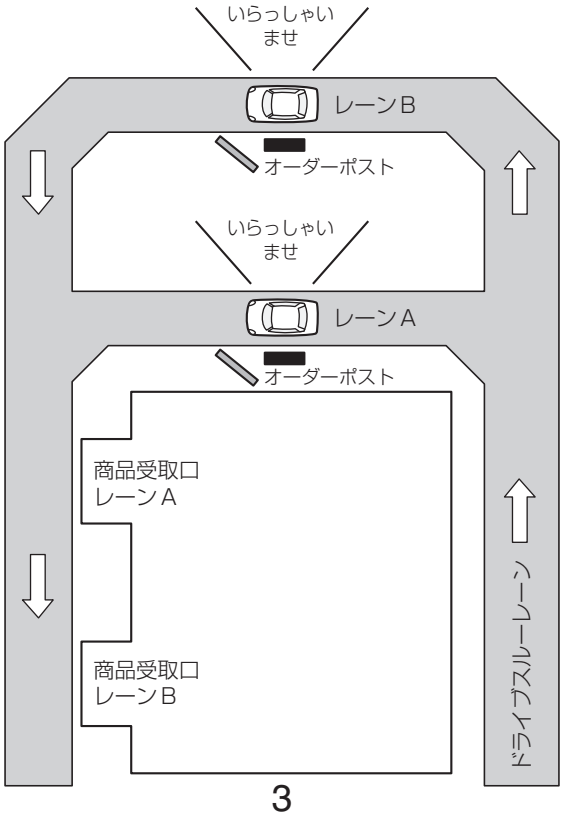
シングルレーン

オーダーポストが１台のみ設置されている環境下での運用をシングルレーンと言います。
WX-CC411が対応しているレーン運用です。



デュアルレーン

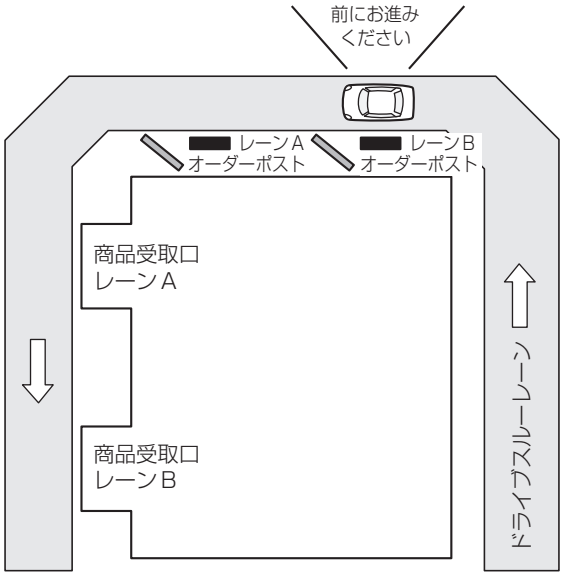
オーダーポストを並列に設置している環境下での運用をデュアルレーンと言います。
デュアルレーンでは、レーンＡとレーンＢの車両感知器は独立しており、各々の車両感知器がONになったときにそれぞれグリーターメッセージを再生します。
WX-CC412が対応しているレーン運用です。



はじめに

タンデムレーン

オーダーポストを直列に設置している環境下での運用をタンデムレーンと言います。レーンAの車両感知器がOFFの状態でレーンBの車両感知器がONになったときにレーンAへの移動を促すタンデムレーンメッセージを再生します。
WX-CC412が対応しているレーン運用です。



■取扱説明書について

取扱説明書は、取扱説明書 設置編、取扱説明書 設定編（PDFファイル）および取扱説明書 ブラウザ編（PDFファイル）で構成されています。

- 取扱説明書 設置編　　：必要な機器との接続や設置のしかた、設定方法（抜粋）について説明しています。
- 取扱説明書 設定編（本書：PDFファイル）：本機を使用するにあたっての設定について説明しています。
- 取扱説明書 ブラウザ編（PDFファイル）　：ブラウザからのアクセスについて説明しています。

PDFファイルをお読みになるには、アドビシステムズ社のAdobe Reader 日本語版が必要です。パソコンにAdobe Reader 日本語版がインストールされていないときは、アドビシステムズ社のホームページから最新のAdobe Reader 日本語版をダウンロードし、インストールしてください。

重要

- 取扱説明書 ブラウザ編の入手は、パナソニックサポートウェブサイト（http://panasonic.biz/it/sound/manual/num_01.html）からダウンロードしてください。

■商標および登録商標について

- Adobe、Acrobat ReaderおよびAdobe Readerは、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- SD、SDHCロゴはSD-3C, LLCの商標です。
- その他、本文中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。

■略称について

このドキュメントでは以下の略称を使用しています。
SDHC／SDメモリーカードをSDカードと表記しています。

もくじ

はじめに 2
- 商品概要 2
- システムイメージ図 2
- 運用について 3
- 取扱説明書について 4
- 商標および登録商標について 4
- 略称について 4

画面操作 6
- 基本的な画面操作について 6
- 設定を確定する 6
- 文字を入力する 7
- 日時や時間を設定する 7
- ボリュームを調整する 7

設定メニュー画面を表示する 8
- 設定メニュー画面の表示 8

本機の設定を行う 9
- 設置設定を行う［Installation Settings］ 9
- 日時の設定を行う 9
- 現在日時の設定を行う 9
- サマータイムの設定を行う 9
- パスワードを変更する 10
- ネットワークアドレスの設定を行う 11
- ヘルプコンタクトの設定を行う 12
- スクリーン＆タッチパネルの設定を行う 12
- 子機の設定を行う［Headset］ 13
- ワイヤレスレピーターの設定を行う［Wireless Repeater］ 15

店舗の設定を行う［Store Settings］ 17
- ナイトタイムボリュームの設定を行う 17
- ストアアワーズの設定を行う 18

タンデムレーンの設定を行う（WX-CC412のみ） 20

レーン別設定を行う［Lane］ 22
- 入力音量の設定を行う 22
- 出力音量の設定を行う 22
- AUX SPの設定を行う 23
- DSPの設定を行う 24

メッセージの設定を行う［Message］ 25
- メッセージを録音する 25
- メッセージを確認再生する 27
- グリーターメッセージの設定を行う 28
- リマインダーメッセージの設定を行う 31
- アラートメッセージの設定を行う 33

セキュリティアラートの設定を行う［Security Alert］ 34

SDカードを操作する［SD Memory Card］ 36
- 設定データとメッセージをバックアップする 36
- バックアップデータをリストアする 37
- SDカードをフォーマットする 38

メンテナンスを行う［Maintenance］ 39
- ソフトウェアバージョンを表示する 39
- 設定データの初期化を行う 39

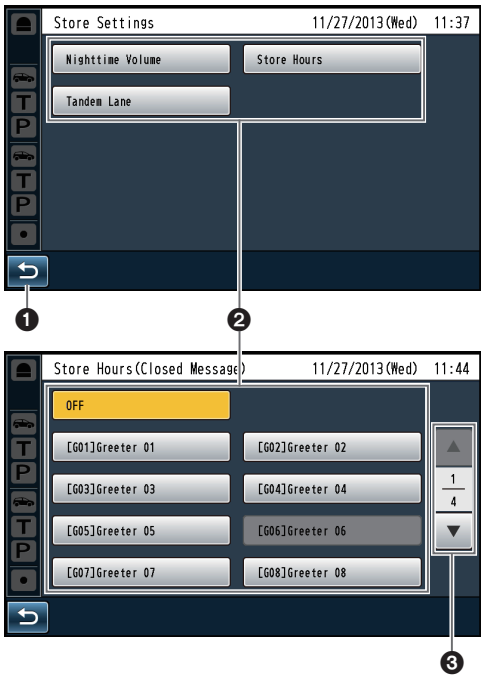
ポップアップメッセージについて 40

故障かな！？ 42

画面操作

■基本的な画面操作について

基本的な画面操作について説明します。



❶戻るボタン

上階層の画面に戻ります。

❷項目選択ボタン

タッチしたボタンに応じた画面に移動します。設定画面ではボタンが選択状態(オレンジ色)になります。場面によってボタン名が変わります。

❸ページ切り替えボタン

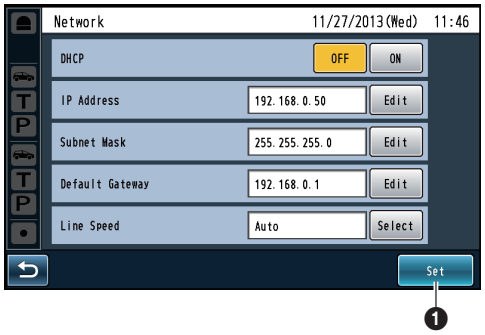
画面が複数のページにまたがっているときにページを切り替えます。▼ボタンをタッチすると次のページの画面を表示し、▲ボタンをタッチすると前のページの画面を表示します。

注意

- 液晶画面は傷つきやすいので、必ず指で触れて操作してください。
- ボールペンなど先端の硬いもの、また爪先で操作しないでください。
- 液晶ディスプレイを強く押さえないでください。
- 市販の液晶保護フィルムは使用しないでください。(タッチパネルが正常に動作しない場合があります)
- 冷暖房を入れた直後など急激な温度変化のために、液晶画面の内側がくもったり、露(水滴)が生じて、正しく動作しないことがあります。無理にご使用にならず本機を１～２時間放置してからご使用ください。

■設定を確定する

複数の設定項目から構成される画面では [Set] ボタンをタッチして、設定を確定します。



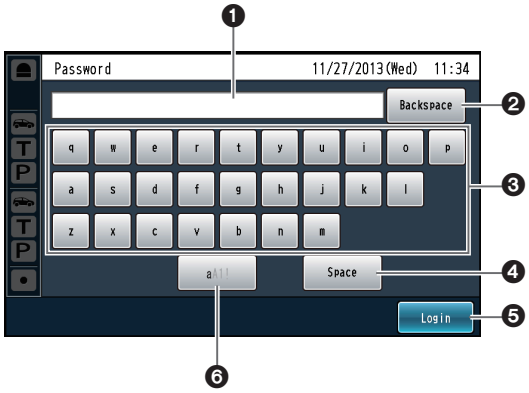
❶Setボタン

画面に表示されている複数の設定を一括で反映します。

画面操作

■文字を入力する

パスワード入力や各種アドレス入力などで文字を入力する場合は、キーボードを使って入力します。



❶入力文字表示領域

入力されている文字が表示されます。

❷バックスペースボタン

入力文字表示領域に表示されている文字の右端文字を削除します。

❸文字入力ボタン

タッチしたボタンの文字を入力します。

❹スペースボタン

空白を入力します。

❺確定ボタン [Enter/Login]

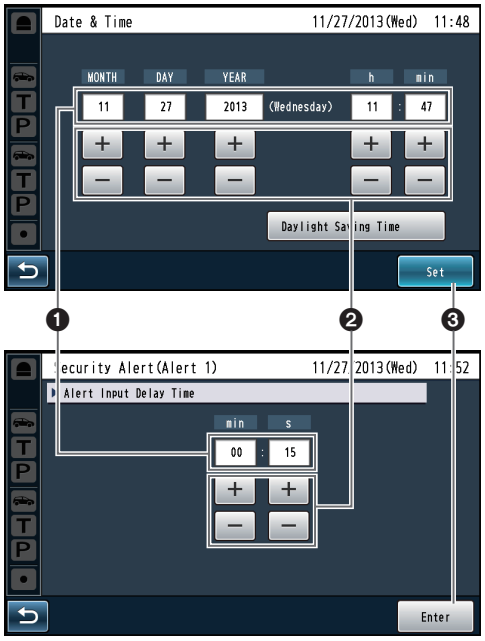
入力された文字列を確定します。

❻文字種切り替えボタン

入力する文字の種類を変更します。

■日時や時間を設定する

[+] ボタンと [－] ボタンを使って日時や時間を入力します。



❶設定値表示領域

現在の設定値を表示します。

❷+, －ボタン

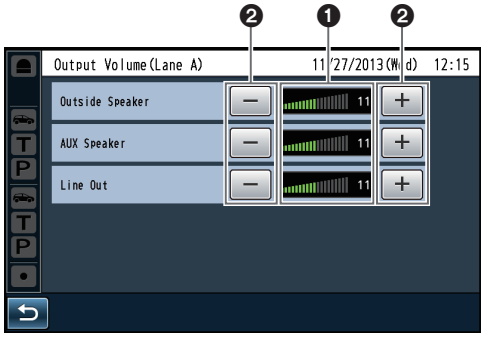
+, －ボタンのタッチに応じて設定値を調整します。

❸確定ボタン [Set/Enter]

設定した日時や時間を確定します。

■ボリュームを調整する

ボリュームを調整します。



❶ボリューム値表示領域

現在のボリューム値を表示します。

❷+, －ボタン

+, －ボタンのタッチに応じてボリューム値を調整します。
変更したボリュームはリアルタイムに変更されます。

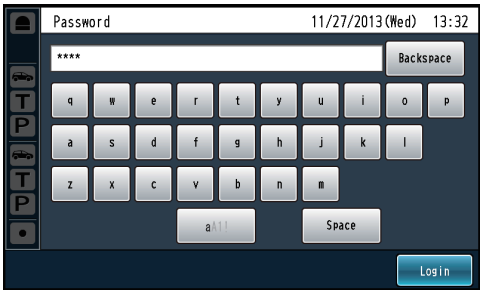
設定メニュー画面を表示する

センターモジュールの設定メニュー画面はパスワード認証後に表示されます。

■設定メニュー画面の表示

1 **タッチパネル上の （設定ボタン）をタッチします。**

- パスワード入力画面が表示されます。



2 **設定したパスワードを入力します。**
（英数字記号８文字以内）

- 入力した文字は“*”で表示されます。
- 初期パスワード：12345

注意

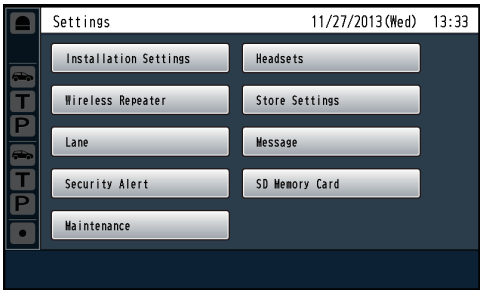
- パスワードを忘れた場合は、販売店にお問い合わせください。

重要

- パスワードはセキュリティを確保するために、定期的に変更してください。

3 **[Login] ボタンをタッチします。**

- 設定メニュー画面が表示されます。



注意

- 各種設定画面では無操作時間が２分を経過すると、自動的にパスワード入力画面に戻ります。
- 設定メニュー画面を表示するには、再度パスワード入力が必要です。

本機の設定を行う

設定メニュー画面から設定したい項目を選択し、各種設定を行います。

■設置設定を行う [Installation Settings]

本機の基本設定を行います。
設置後は必ず設定してください。

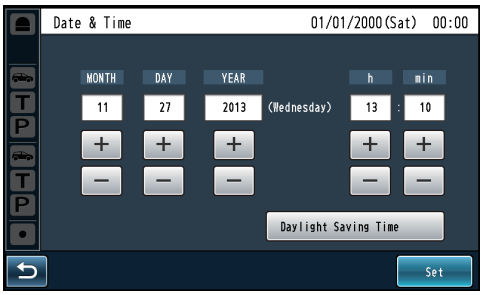
■日時の設定を行う

センターモジュールの日時、サマータイムを設定します。

■現在日時の設定を行う

センターモジュールの現在日時を設定します。

1 設定メニュー画面→ [Installation Settings] ボタン→ [Date & Time] ボタンの順にタッチします。



2 現在の年月日、時分を入力します。

- 液晶画面の日時表示が更新されます。入力方法は「日時や時間を設定する」(7ページ) を参照してください。2013年1月1日00：00～2035年12月31日23：59の範囲で設定できます。

重要

- 本機では以下の順で日時を設定します。
  月/日/年 時:分
- 時刻は24時間表記です。
- 液晶画面の日時表示も上記の表記方法で表示されます。

3 [Set] ボタンをタッチします。

- 液晶画面に表示する現在日付、時刻が更新されます。

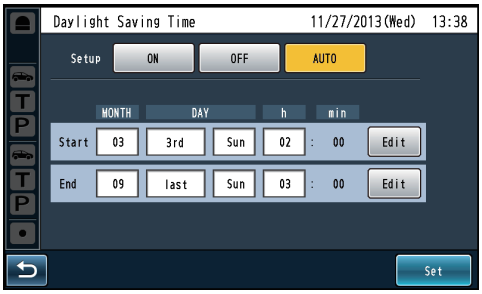
注意

- 日時設定の途中でサマータイム設定を行うと、警告画面が表示されます。日時設定を終わらせてからサマータイム設定を行ってください。
- 日時設定後、2036年1月1日を経過した場合は、電源OFF/ONにて、2000年1月1日に初期化されます。2036年1月1日以降はグリーターメッセージやリマインダーメッセージなどスケジュール機能は動作しません。

■サマータイムの設定を行う

サマータイムの設定を行います。

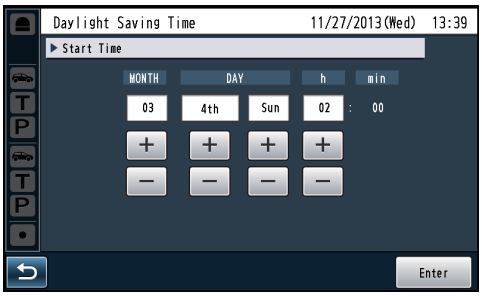
1 設定メニュー画面→ [Installation Settings] ボタン→ [Date & Time] ボタン→ [Daylight Saving Time] ボタンの順にボタンをタッチします。



2 [Setup]
サマータイムを使用するかどうかを [ON] ／ [OFF] ／ [AUTO] ボタンで設定します。

ON： 時刻をサマータイムにします。
(現在時刻を1時間進める)
OFF： サマータイムを解除します。
AUTO： 開始日時、終了日時設定 (月、週、曜日、時刻) にしたがって、サマータイム時刻に切り換えます。
初期設定：OFF

AUTOを選んだ場合は、サマータイムの開始日時と終了日時の設定が必要です。[Edit] ボタンをタッチして開始日時と終了日時を設定します。



サマータイム開始/終了日時の月、日、時を入力し、[Enter] ボタンをタッチします。

注意

- サマータイム中は時刻表示に "*" が表示されます。
- [Day] は○回目の△曜日という形で指定します。[Last] を設定した場合、その月に5回目の指定曜日がなければ、4回目の指定曜日を対象日とします。
- 開始と終了は同じ日を設定できません。

3 [Set] ボタンをタッチします。

- サマータイムの設定が更新されます。

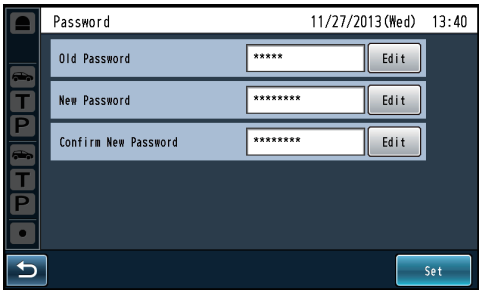
メモ

- 時刻がサマータイムの場合、スケジュール関連機能（リマインダーメッセージやストアアワーズなど）はサマータイムが反映された時刻で動作します。

■パスワードを変更する

パスワードを変更します。

1 設定メニュー画面→ [Installation Settings] ボタン → [Password] ボタンの順にタッチします。



2 [Old Password]、[New Password]、[Confirm New Password] を入力します。

[Edit] ボタンをタッチして [Old Password]、[New Password]、[Confirm New Password] を入力します。

[Old Password]
現在のパスワードを入力します。

[New Password]
新しいパスワードを入力します。

[Confirm New Password]
確認のため新しいパスワードを入力します。

メモ

- パスワードは英数字記号８文字まで入力できます。
- 入力した文字は“*”で表示されます。

重要

- パスワードはセキュリティを確保するために、定期的に変更してください。

3 [Set] ボタンをタッチします。

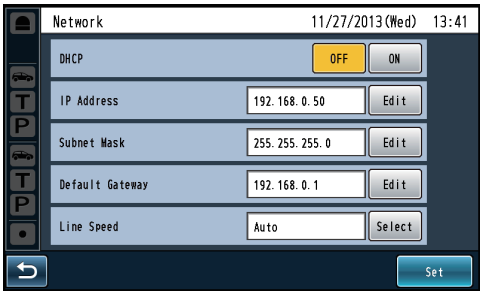
- パスワードが変更されます。

本機の設定を行う

■ネットワークアドレスの設定を行う

センターモジュールのネットワーク設定を行います。

1 設定メニュー画面→ [Installation Settings] ボタン → [Network] ボタンの順でボタンをタッチします。



[DHCP]
DHCP機能を使用する、しないを設定します。

OFF：IPアドレスを手動で設定します。
［IP Address］［Subnet Mask］［Default Gateway］を入力してください。
ON： DHCPを使用します。
DHCP機能を使用してIPアドレスを設定します。
DHCP サーバーからIP アドレスを取得できない場合は、自動でIPアドレス（Auto IP）を設定します。
［IP Address］［Subnet Mask］［Default Gateway］は入力不要です。
初期設定：OFF

メモ

- DHCPがOFF設定のとき、他機器のIPアドレスと重複しないようにIPアドレスを設定してください。
- DHCPがON設定のとき、DHCP機能を使用しない機器が同じIPアドレスにならないように、DHCPサーバーを設定してください。サーバーの設定については、ネットワーク管理者にお問合せください。
- DHCPがON設定のとき、DHCPサーバーからIPアドレスを取得できない場合は、169.254.1.0 ～ 169.254.254.255の間で同一ネットワーク内で使用されていないIPアドレスを検索してIPアドレスを設定します。

[IP Address]
IPアドレスを設定します。
［Edit］ボタンをタッチしてIPアドレスを入力します。
初期設定：192.168.0.50

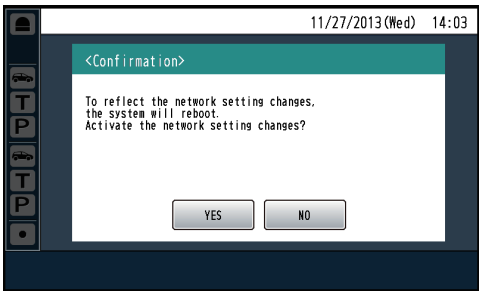
[Subnet Mask]
サブネットマスクのアドレスを設定します。
［Edit］ボタンをタッチしてアドレスを入力します。
初期設定：255.255.255.0

[Default Gateway]
デフォルトゲートウェイのアドレスを設定します。
［Edit］ボタンをタッチしてアドレスを入力します。
初期設定：192.168.0.1

[Line Speed]
ネットワークの通信速度を指定します。
［Select］ボタンをタッチして通信速度を選択します。
通信速度は以下から選択します。
Auto：通信速度が自動設定されます。
100M-Full ：100Mbps 全二重
100M-Half ：100Mbps 半二重
10M-Full ：10Mbps 全二重
10M-Half ：10Mbps 半二重
初期設定：Auto

2 [Set] ボタンをタッチします。

- 次の確認ポップアップ画面が表示されます。ネットワーク設定の変更を反映するには「YES」ボタンをタッチします。



メモ

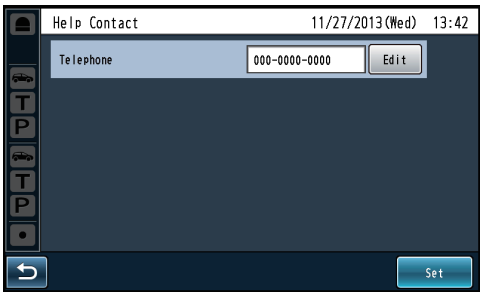
- ネットワーク設定を変更すると自動的に再起動します。
- タッチパネル上の（情報表示ボタン）→［System Info］ボタンの順にタッチするとネットワークの状態を確認することができます。

本機の設定を行う

■ヘルプコンタクトの設定を行う

ヘルプコンタクトは緊急時の連絡先をヘルプコンタクト画面で確認する機能です。
ヘルプコンタクト画面で表示する電話番号を入力します。

1 **設定メニュー画面→ [Installation Settings] ボタン→ [Help Contact] ボタンの順にタッチします。**
[Edit] ボタンをタッチして電話番号を入力します。



2 **[Set] ボタンをタッチします。**

- ヘルプコンタクトの設定が反映されます。

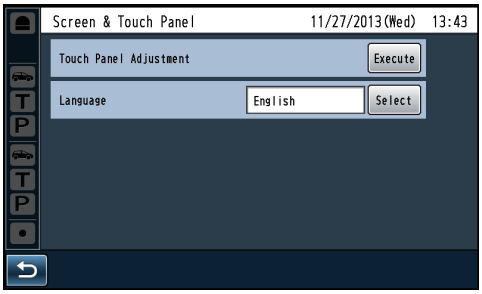
メモ

- タッチパネル上の ⓘ（情報表示ボタン）→ [Help Contact] ボタンの順にタッチすると入力した電話番号を確認することができます。
- 数字、記号（“-”）を18文字まで設定することができます。

■スクリーン&タッチパネルの設定を行う

液晶画面とタッチパネルに関する設定を行います。

1 **設定メニュー画面→ [Installation Settings] ボタン→ [Screen & Touch Panel] ボタンの順にタッチします。**

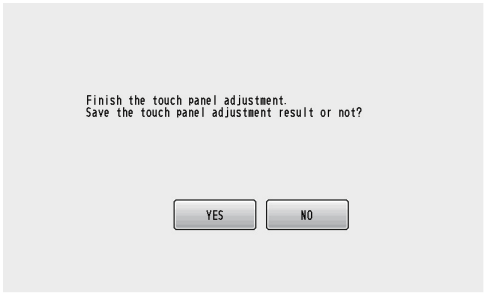


[Touch Panel Adjustment]
タッチパネルの位置調整を行います。
[Execute] ボタンをタッチすると「タッチパネル調整画面」が表示されます。

メモ

- ＋マークから外れた位置をタッチすると位置調整を最初からやり直します。

＋マークを５箇所タッチすると、次の確認ポップアップ画面が表示されます。位置調整の結果を反映する場合は [YES] ボタンをタッチします。反映せずに戻る場合は [NO] ボタンをタッチします。



[Language]
液晶画面に表示する言語を選択します。[Select] ボタンをタッチして表示言語を選択します。表示言語は以下から選択します。

English： 液晶画面に表示される文言を英語で表示します。
Français：液晶画面に表示される文言をフランス語で表示します。
初期設定： English

本機の設定を行う

■子機の設定を行う [Headset]

Headsetとは子機（ベルトパック、オールインワンヘッドセット）の総称で、ここでは子機に関する設定を行います。

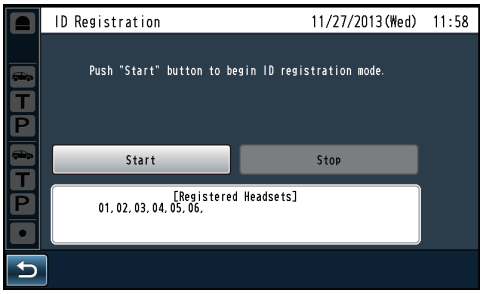
ID登録のしかた

- 子機でトーク（TALK）やページ（PAGE）を行うにはID登録が必要です。
- ID登録を行うにはセンターモジュールをID登録モードにし、子機の操作で登録を行います。

以下に子機での操作の例を元にID登録のしかたについて説明します。

1 設定メニュー画面 → [Headsets] ボタン → [ID Registration] ボタンの順にタッチします。

- ID登録画面が表示されます。

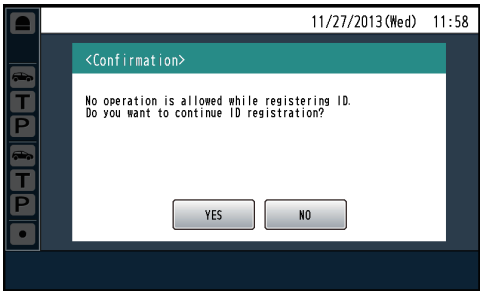


メモ

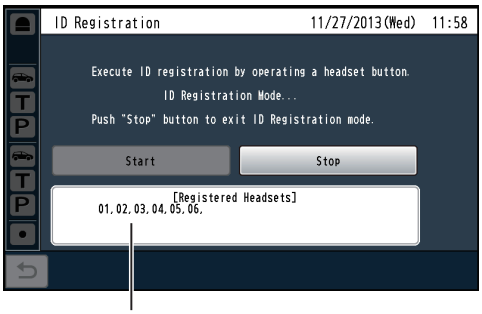
- [Registered Headsets] 領域には登録済みの子機番号が表示されます。ID登録が成功すると登録された子機のIDが追加されます。

2 [Start] ボタンをタッチします。

- 次の確認ポップアップ画面が表示されます。
  ID登録中は他の操作はできません。ID登録を続ける場合は [YES] ボタンをタッチします。
  ID登録を中止する場合は [NO] ボタンをタッチします。



- [YES] ボタンをタッチするとID登録モードがスタートします。



登録完了した子機の番号が表示されます。

3 子機の [T1] ボタンと [T2] ボタンを押しながら [POWER] ボタンを押します。

- 子機がID登録モードで起動します。子機で“Registration Mode”と鳴動し、電源表示灯が橙点滅します。
  ID登録モードではボタンや表示灯は通常起動時と異なる機能になります。

4 子機で [T1] ボタンを押します。

子機がID登録モードのセンターモジュールを検索します。
子機で“Connecting center module A”と鳴動し、レーン表示灯が橙点滅します。
WX-CC412の場合は、レーンAの登録の後、“Connecting center module B”と鳴動し、レーン表示灯が緑点滅します。

- ID登録が成功すると、子機で“Registration complete”と鳴動し、その後登録された子機の番号が鳴動します。電源表示灯およびレーン表示灯の点滅が終了し、点灯します。

全てのID登録が完了したら、ID登録画面で [Stop] ボタンをタッチします。
センターモジュールのID登録モードが終了します。子機の電源表示灯が橙から緑に変わります。

重要

- 複数の子機をID登録する場合は、1台ずつ順番にID登録操作を行ってください。複数台同時にID登録操作を行うと、正常にID登録できないことがあります。
- ID登録中は子機の電源を切ったり、電池を抜いたりしないでください。正常にID登録できないことがあります。ID登録がうまくいかない場合は、センターモジュールで [Stop] ボタンをタッチし、ID登録モードを抜けてから再度実行してください。
- ID登録に失敗すると子機で“プーー”と警告音の後、“Failed”と鳴動します。ID登録に失敗するとセンターモジュールに子機のIDが登録されず、子機の電源表示灯が赤点滅します。
- 1台のセンターモジュールあたり、子機32台までID登録することができます、32台を越えてID登録した場合、最も長い間使用されていないヘッドセットのIDを自動的に削除してからID登録します。

本機の設定を行う

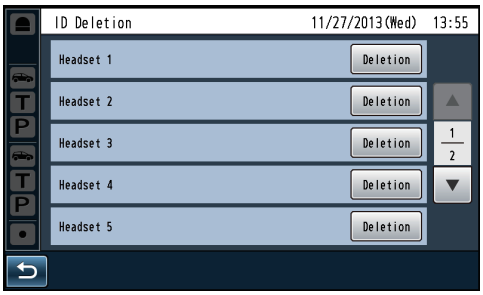
ID削除のしかた

子機のID登録を解除する機能です。

1 ID削除する子機の電源を切ります。

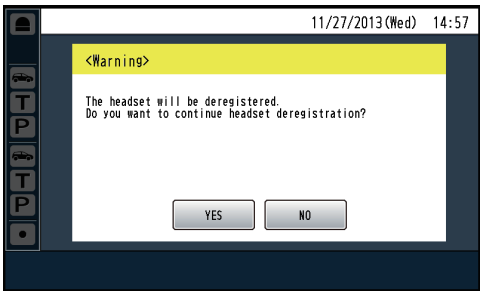
2 設定メニュー画面→[Headsets] ボタン→[ID Deletion] ボタン の順にタッチします。

- ID登録した全ての子機が一覧表示されます。
  ※子機が1台もID登録されていない場合はこの画面は表示されません。



3 画面上のID削除する子機の [Deletion] ボタンをタッチします。

- 次の確認ポップアップ画面が表示されます。削除する場合は[YES]ボタンをタッチします。削除を中止する場合は[NO]ボタンをタッチします。



メモ

- ヘッドセット番号は子機の電源投入時に鳴動する音声で確認することができます。
  子機の電源が起動すると、イヤホーンから“Hello”“Headset **”（**はセンターモジュールに登録されたID番号）「レーン○」（○は接続しているレーン名）と音声が聞こえてきます。

グループ登録のしかた

子機のグループ登録を行います。
アラートメッセージやリマインダーメッセージの放送先としてグループを選択しておけば、同時に複数の子機に放送できます。

1 設定メニュー画面→[Headsets] ボタン→[Group] ボタンの順にタッチします。

メモ

- グループは1～6まで設定することができます。

2 設定するグループのボタンをタッチします。

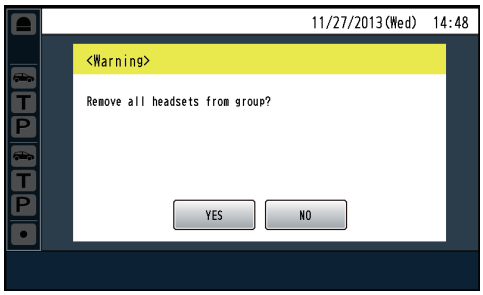
- ID登録した全ての子機が一覧表示されます。
  ※子機が1台もID登録されていない場合はこの画面は表示されません。

3 グループに登録する子機を選択します。

- グループに登録する子機は [ON] に設定します。
- グループから削除する子機は [OFF] に設定します。
- 全子機をグループ登録削除したい場合は [Clear] ボタンをタッチします。

初期設定：すべてOFF

- [Clear] ボタンをタッチすると次の確認ポップアップ画面が表示されます。グループから削除する場合は[YES]ボタンをタッチします。削除を中止する場合は[NO]ボタンをタッチします。



メモ

- 1グループに最大32台の子機を登録できます。
- 子機は複数のグループに登録できます。

4 [Set] ボタンをタッチします。

- 子機のグループ登録が反映されます。

本機の設定を行う

■ワイヤレスレピーターの設定を行う [Wireless Repeater]

2014年1月現在、本機能には対応していません。

ワイヤレスレピーターの登録・削除を行います。

ID登録のしかた

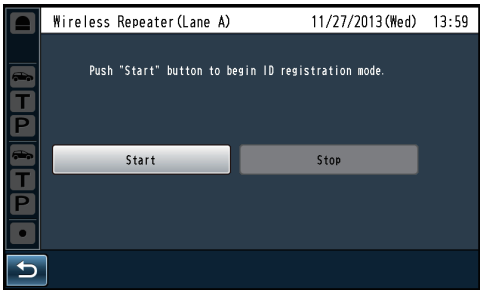
ワイヤレスレピーターの登録を行います。ワイヤレスレピーターを使用すれば無線通信の到達距離を伸ばすことができます。

- ワイヤレスレピーターを使用するにはID登録が必要です。
- ID登録を行うにはセンターモジュールをワイヤレスレピーターのID登録モードにし、レピーターの操作で登録を行います。

以下にワイヤレスレピーターのID登録のしかたについて説明します。

1 設定メニュー画面→ [Wireless Repeater] ボタン→ ([Lane A/B] ボタン) ※→ [ID Registration] ボタンの順にタッチします。

※WX-CC412をご使用の場合のみ表示されます。

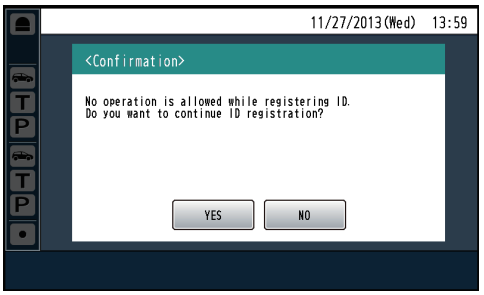


メモ

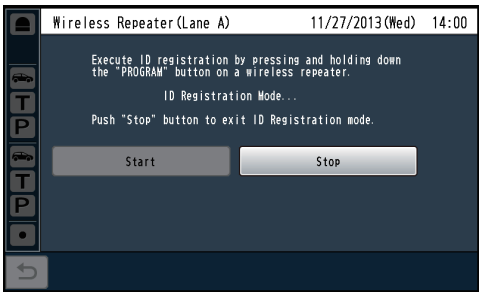
- ワイヤレスレピーターが登録済みの場合は、[ID Registration]ボタンをタッチすることはできません。ワイヤレスレピーターの登録を解除してからID登録を行ってください。

2 [Start] ボタンをタッチします。

- 次の確認ポップアップ画面が表示されます。ID登録中は他の操作はできません。ID登録を続ける場合は[YES]ボタンをタッチします。ID登録を中止する場合は[NO]ボタンをタッチします。



- [YES]ボタンをタッチするとワイヤレスレピーターID登録モードがスタートします。

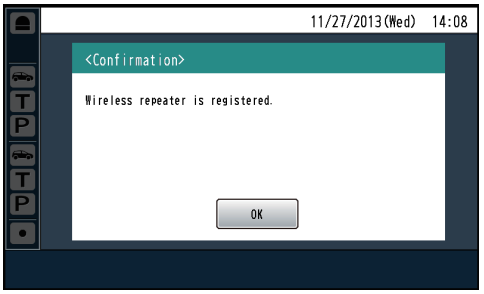


3 ワイヤレスレピーターのACアダプターを電源コンセントに差し込みます。

4 ワイヤレスレピーター背面のPROGRAMボタンを約3秒間押し続けます。

- ワイヤレスレピーターがレピーターID登録モードのセンターモジュールを検索します。このときレピーターの動作状態LEDが緑点灯、電波レベル/登録LEDが緑点滅します。

登録が成功すると以下のポップアップ画面が表示され、自動的にレピーターID登録モードを終了します。ワイヤレスレピーターは自動的に再起動します。



メモ

- ワイヤレスレピーターはレーン当たり1台のみ登録することができます。

本機の設定を行う

ID削除のしかた

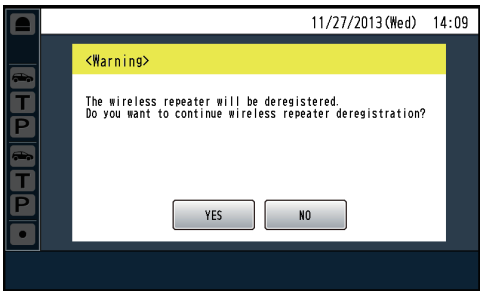
ワイヤレスレピーターの登録を解除します。

1 **設定メニュー画面→ [Wireless Repeater] ボタン→ ([Lane A/B] ボタン) ※の順にタッチします。**

※ WX-CC412をご使用の場合のみ表示されます。

2 **[ID Deletion] ボタンをタッチします。**

- 次の確認ポップアップ画面が表示されます。削除する場合は [YES] ボタンをタッチします。削除を中止する場合は [NO] ボタンをタッチします。



- [YES] ボタンをタッチするとワイヤレスレピーターの登録が解除されます。

メモ

- ワイヤレスレピーターが未登録の場合は、[ID Deletion] ボタンをタッチすることはできません。

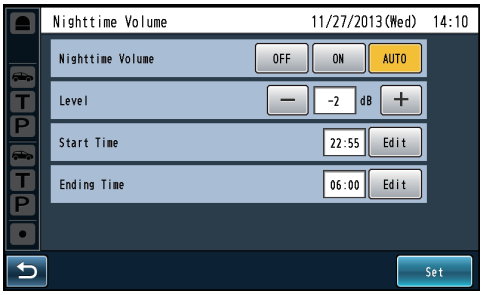
店舗の設定を行う [Store Settings]

店舗の運用設定を行います。

■ナイトタイムボリュームの設定を行う

オーダーポストスピーカーから出力される音声の音量レベルを相対的に抑える機能です。夜間の騒音を抑えるため、オーダーポストから出力される音量レベルを小さくするときに使用します。

1 **設定メニュー画面→ [Store Settings] ボタン→ [Nighttime Volume] ボタンの順にタッチします。**



2 [Nighttime Volume]
ナイトタイムボリュームを使用するかどうかを [OFF] ／ [ON] ／ [AUTO] ボタンで設定します。

OFF： オーダーポストスピーカーの音量レベルを変更しません。
ON： オーダーポストスピーカーの音量を小さくします。
AUTO： 毎日開始時刻、終了時刻にしたがって、自動的にオーダーポストスピーカーから出力される音声の音量を小さくします。

初期設定：OFF

3 [Level]
音声の抑圧レベルを設定します。

-20 dB ～ 0 dB（2 dBステップ）で設定します。

初期設定：0 dB

4 [Start Time] [Ending Time]
「AUTO」を選択した場合はナイトタイムボリュームの開始、終了時刻を設定します。

[Start Time]、[Ending Time] の [Edit] ボタンをタッチして時刻を設定します。

メモ

- 日をまたいで設定する場合は開始時刻よりも終了時刻を早い時間に設定してください。

5 **[Set] ボタンをタッチします。**

- ナイトタイムボリュームの設定が反映されます。

メモ

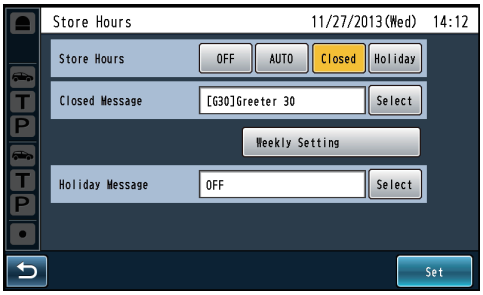
- WX-CC412をご使用の場合、本設定はレーンA、レーンB共に反映されます。
- 夜間音量設定が有効の間はASLCの設定によらず、ASLC機能は動作しません。ASLCについては「DSPの設定を行う」（24ページ）を参照してください。

店舗の設定を行う [Store Settings]

■ストアアワーズの設定を行う

店舗の営業時間を設定します。営業時間外の来客時に閉店用のグリーターメッセージを流すなどの運用を行うことができます。

1 **設定メニュー画面→[Store Settings] ボタン→[Store Hours] ボタンの順にタッチします。**



2 **[Store Hours]**
ストアアワーズを使用するかどうかを [OFF] ／ [AUTO] ／ [Closed] ／ [Holiday] ボタンで設定します。

OFF： 車両感知器がONの時、スケジュールで設定されたグリーターメッセージを再生します。

AUTO： 車両感知器がONの時、営業時間内であればスケジュールで設定されたグリーターメッセージを再生します。営業時間外であれば閉店用グリーターメッセージを再生します。

Closed： 車両感知器がONの時、常に閉店用グリーターメッセージを再生します。レーンを閉鎖している時などに使用します。

Holiday： 車両感知器がONの時、常に休日用グリーターメッセージを再生します。クリスマスやハロウィーンなど特別な日に流すグリーターメッセージに変更するときに使用します。

初期設定：OFF

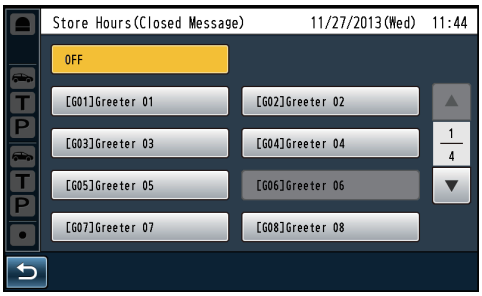
メモ

- AUTO設定時はあらかじめ営業時間の設定を行ってください。[Weekly Setting] で設定します。詳しくは「営業時間を設定するには」(19ページ) をお読みください。

3 **閉店用グリーターメッセージ／休日用グリーターメッセージを設定します。**

[Closed Message] ／ [Holiday Message] の [Select] ボタンをタッチして、グリーターメッセージ一覧から各メッセージを選択します。

初期設定：OFF



メモ

- 録音済みのグリーターメッセージから選択することができます。
- 録音操作は「メッセージを録音する」(25ページ) を参照してください。

4 **[Set] ボタンをタッチします。**

- ストアアワーズ設定が反映されます。

店舗の設定を行う [Store Settings]

営業時間を設定するには

ストアアワーズをAUTOに設定するときは、事前に営業時間の設定を行う必要があります。以下にストアアワーズのスケジュール設定の方法を説明します。

1 **[Weekly Setting] ボタンをタッチします。**

曜日選択画面が表示されます。

2 **スケジュール設定する曜日をタッチします。**

[Start Time]、[Ending Time] の [Edit] ボタンをタッチして時刻を設定します。

[Copy To]：開始時刻と終了時刻を他曜日へコピーします。

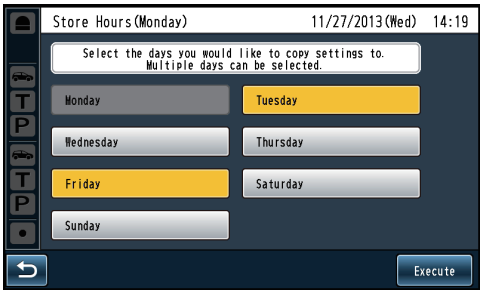
[Clear]：　開始時刻、終了時刻両方を--:--にします。

3 **[Set] ボタンをタッチします。**

- ストアアワーズの設定が反映されます。

ストアアワーズ設定をコピーするには

ストアアワーズ設定を他の曜日にコピーすることができます。[Copy to] ボタンをタッチすると曜日選択画面が表示されます。



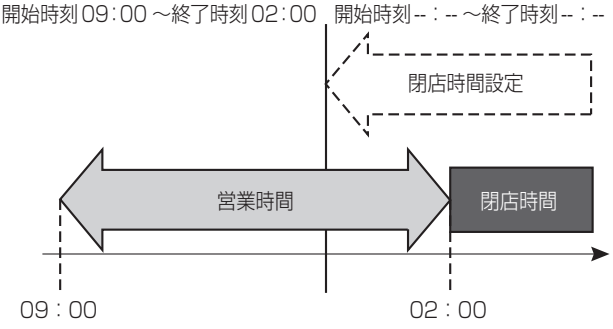
コピー先の曜日を選択して、[Execute] ボタンをタッチします。
選択した曜日にストアアワーズのスケジュールがコピーされます。

メモ

- 選択を解除する場合は、選択中のボタンを再びタッチします。
- コピー先の曜日は複数選択することができます。
- 開始時刻と終了時刻を同一時刻に設定すると、翌日の同時刻までが営業時間となります。(24時間営業)
- 開始時刻、終了時刻共に--:--に設定すると、その日は終日閉店となります。一方の時刻のみ--:--にすることはできません。
- 終了時刻を開始時刻よりも前に設定した場合、終了時刻は日をまたいだ翌日の終了時刻となります。
  例) 開始時刻09:00、終了時刻02:00の場合、営業時間は午前9:00 ～翌日の午前2:00 になります。
  営業時間と閉店時間が重なった場合は営業時間が優先されます。

営業時間設定
開始時刻09:00～終了時刻02:00

営業時間設定
開始時刻--:--～終了時刻--:--



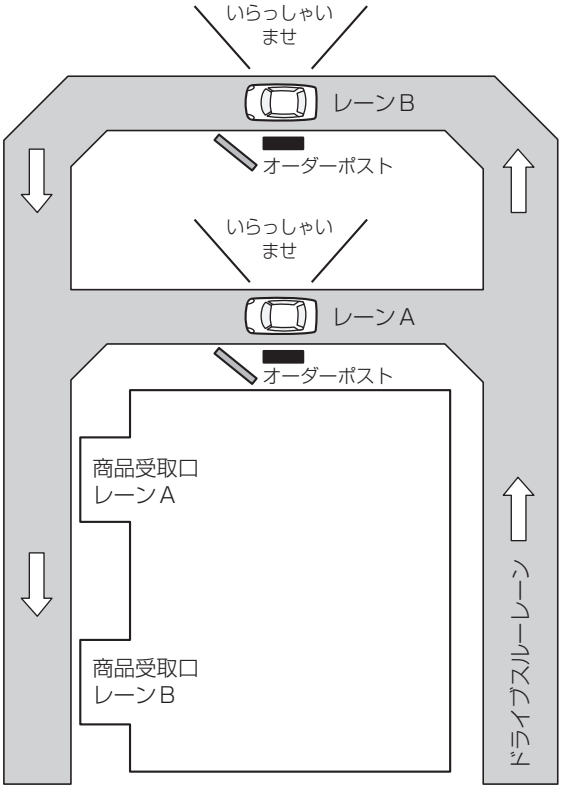
初期設定
00:00（全曜日24時間営業）

タンデムレーンの設定を行う（WX-CC412のみ）

WX-CC412ではオーダーポストの配置によって、デュアルレーンとタンデムレーンを選択することができます。

デュアルレーン

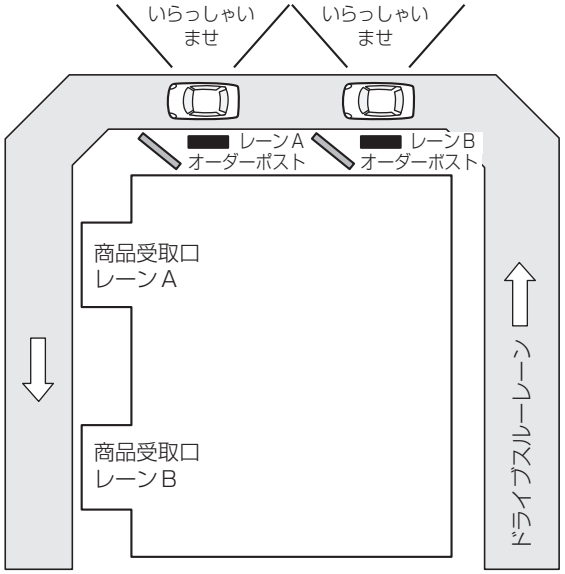
オーダーポストを並列に設置している環境下での運用をデュアルレーンと言います。
デュアルレーンではレーンAの車両感知器の状態によらずレーンBにはスケジュールで設定されたグリーターメッセージを再生します。



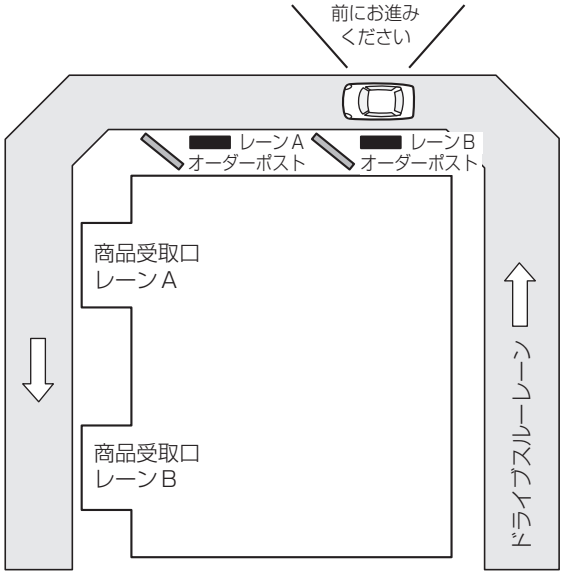
タンデムレーン

オーダーポストを直列に設置している環境下での運用をタンデムレーンと言います。レーンAの車両感知器の状態によってレーンBに再生するグリーターメッセージを切り換えます。

(1) レーンAの車両感知器がONの状態でレーンBの車両感知器がONになったとき
レーンBにはレーンAと同じスケジュールで設定されたグリーターメッセージを再生します。

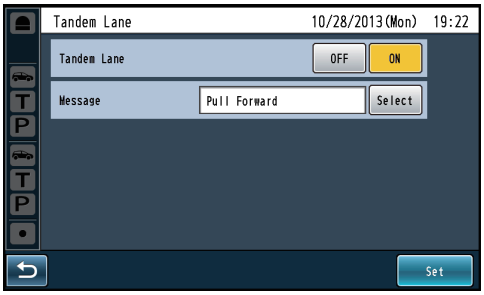


(2) レーンAの車両感知器がOFFの状態でレーンBの車両感知器がONになったとき
レーンBにはレーンAへの移動を促すタンデムレーンメッセージを再生します。



タンデムレーンの設定を行う（WX-CC412のみ）

1 設定メニュー画面→[Store Settings] ボタン→[Tandem Lane] ボタンの順にタッチします。



2 [Tandem Lane]
タンデムレーンを設定します。

OFF：デュアルレーン
ON： タンデムレーン

初期設定：OFF

3 [Message]
タンデムレーンメッセージを選択します。

[Select] ボタンをタッチして、グリーターメッセージ一覧からタンデムレーンメッセージを選択します。

初期設定：Pull Forward

メモ

- [Pull Forward] はあらかじめ用意されているタンデムレーン用のメッセージです。SDカードが挿入されていなくても選択することができます。

レーン別設定を行う [Lane]

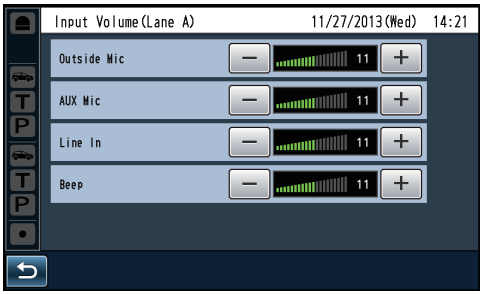
スピーカー、マイクの音量を設定する機能です。また、ノイズリダクションやエコーキャンセラーの設定を行います。

■入力音量の設定を行う

子機やオーダーポストスピーカーに出力する音声の音量を調整します。

1 設定メニュー画面→ [Lane] ボタン→ ([Lane A/B] ボタン) ※→ [Input Volume] ボタンの順にタッチします。

※ WX-CC412をご使用の場合のみ表示されます。



2 各入力の音量を調整します。

ボリュームは0～20の範囲で設定できます。

[Outside Mic]
オーダーポストマイクのボリュームを設定します。
初期設定：11

[AUX Mic]
キッチンマイクのボリュームを設定します。キッチンスピーカーにキッチンマイクの音声を出力するときもこのボリュームが反映されます。
初期設定：11

[Line In]
ライン入力のボリュームを設定します。
初期設定：11

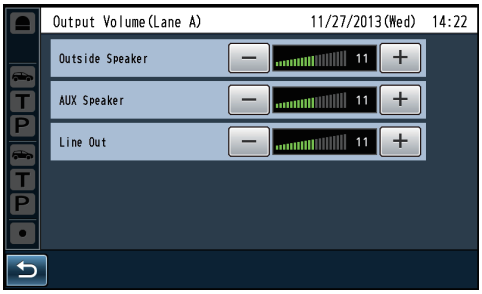
[Beep]
ビープ音のボリュームを設定します。
初期設定：11

■出力音量の設定を行う

各出力の音量を調整します。

1 設定メニュー画面→ [Lane] ボタン→ ([Lane A/B] ボタン) ※→ [Output Volume] ボタンの順にタッチします。

※ WX-CC412をご使用の場合のみ表示されます。



2 各出力の音量を調整します。

ボリュームは0～20の範囲で設定できます。

[Outside Speaker]
オーダーポストスピーカーのボリュームを設定します。
初期設定：11

メモ

- ASLC機能がONの時、オーダーポスト周辺の騒音環境によって設定値よりも大きな音量でスピーカーから拡声されることがあります。ASLCについては「DSPの設定を行う」(24ページ) を参照してください。

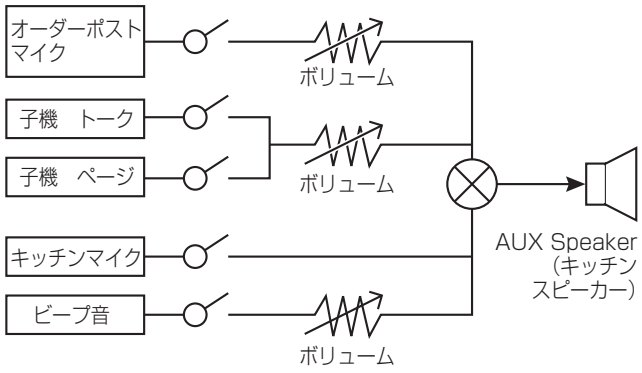
[AUX Speaker]
キッチンスピーカーのボリュームを設定します。
初期設定：11

[Line Out]
ライン出力のボリュームを設定します。
初期設定：11

レーン別設定を行う [Lane]

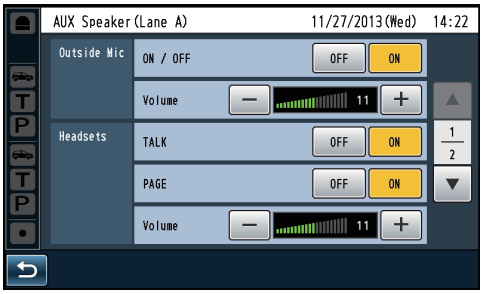
■AUX SPの設定を行う

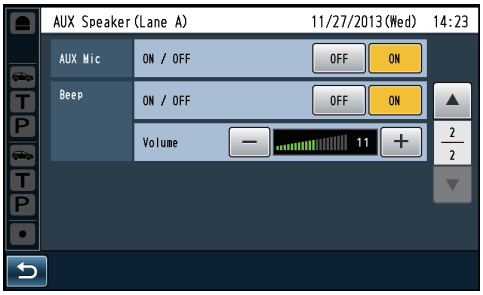
キッチンスピーカーに出力する音声の選択とその音量を設定します。キッチンスピーカーに出力する音声のバランスを調整します。



1 **設定メニュー画面→ [Lane] ボタン→ ([Lane A/B] ボタン) ※→ [AUX SP] ボタンの順にタッチします。**

※WX-CC412をご使用の場合のみ表示されます。





2 **キッチンスピーカーに出力する音声とそのボリュームを設定します。**

ボリュームは0～20の範囲で設定できます。

[Outside Mic]
キッチンスピーカーにオーダーポストマイクの音声を出力するかどうかを設定します。また、オーダーポストマイクの音声を出力する場合のボリュームを設定します。
OFF：オーダーポストマイクの音声をキッチンスピーカーに出力しません。
ON：オーダーポストマイクの音声をキッチンスピーカーに出力します。
初期設定：ON/OFF：ON
ボリューム：11

[Headsets]
キッチンスピーカーに子機からのトーク [TALK] 音声、ページ [PAGE] 音声を出力するかどうかを設定します。また、トーク [TALK] 音声、ページ [PAGE] 音声を出力する場合のボリュームを設定します。
OFF：トーク [TALK] またはページ [PAGE] 音声をキッチンスピーカーに出力しません。
ON：トーク [TALK] またはページ [PAGE] 音声をキッチンスピーカーに出力します。
初期設定：TALK：ON
PAGE：ON
ボリューム：11

[AUX Mic]
キッチンスピーカーにキッチンマイクの音声を出力するかどうかを設定します。キッチンマイクのボリューム設定は全出力共通で「入力音量の設定を行う」(22ページ) で設定します。
OFF：キッチンマイクの音声をキッチンスピーカーに出力しません。
ON：キッチンマイクの音声をキッチンスピーカーに出力します。
初期設定：ON

[Beep]
キッチンスピーカーにビープ音を出力するかどうかを設定します。また、ビープ音を出力する場合のボリュームを設定します。
OFF：ビープ音をキッチンスピーカーに出力しません。
ON：ビープ音をキッチンスピーカーに出力します。
初期設定：ON/OFF：ON
ボリューム：11

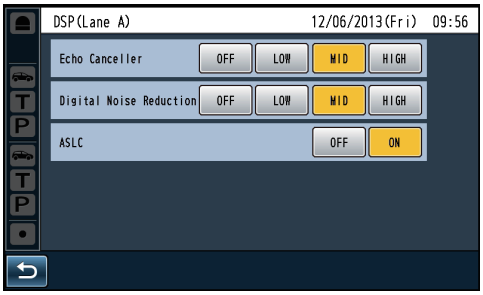
レーン別設定を行う [Lane]

■DSPの設定を行う

音声信号処理に関する３つの機能（エコーキャンセラー、デジタルノイズリダクション、ASLC）をそれぞれ設定できます。

1 設定メニュー画面→ [Lane] ボタン→（[Lane A/B] ボタン）※→ [DSP] ボタンの順にタッチします。

※WX-CC412をご使用の場合のみ表示されます。



[Echo Canceller]
エコーキャンセラーの設定を行います。
子機を持つ従業員の音声がオーダーポストのスピーカーから拡声され、オーダーポストのマイクがこの音声を拾い、この音声が子機を持つ従業員のスピーカーへ戻ること（エコー）を抑制する機能です。
エコー抑圧のレベルを [OFF] ／ [LOW] ／ [MID] ／ [HIGH] ボタンで設定できます。
OFF： 本機能は動作しません。
LOW： エコー抑圧量　小
MID： エコー抑圧量　中
HIGH：エコー抑圧量　大
初期設定：MID

注意

- エコー抑圧量が大きくなるにつれて、相手の音声も抑圧してしまい、通話品質が劣化してしまうことがあります。

[Digital Noise Reduction]
デジタルノイズリダクションの設定を行います。
オーダーポストマイクから入力される周囲雑音を除去して、顧客からの音声をより高品位に聞き取ることができるようにします。マイク周囲の環境に合わせて設定してください。
ノイズ抑圧のレベルを [OFF] ／ [LOW] ／ [MID] ／ [HIGH] ボタンで設定できます。
OFF： 本機能は動作しません。
LOW： ノイズ抑圧量　小
MID： ノイズ抑圧量　中
HIGH：ノイズ抑圧量　大
初期設定：MID

注意

- ノイズ抑圧量が大きくなるにつれて、来客の音声も抑圧してしまい、音質劣化してしまうことがあります。

[ASLC]
ASLCの設定を行います。
ASLCはAuto Speaker Level Control（自動スピーカー音量制御）の略です。
オーダーポストの周囲騒音の大きさに応じてオーダーポストスピーカーの音量を自動的に調整します。
OFF：本機能は動作しません。
ON： 騒音レベルに応じて自動でスピーカーの音量を調節します。
初期設定：ON

メモ

- 以下の場合、ASLCの設定によらず、ASLC機能は動作しません。
  -Nighttime Volumeが有効
  -Outside Speakerの音量が0

メッセージの設定を行う [Message]

グリーターメッセージ、リマインダーメッセージ、アラートメッセージの設定を行います。

グリーターメッセージ

車両感知器がオーダーポスト上で車を感知するとオーダーポストスピーカーから自動的に再生する接客用のメッセージです。

リマインダーメッセージ

従業員に対して作業を促すため、定刻に再生するメッセージです。

アラートメッセージ

セキュリティアラートが発生した時にアラート発生を従業員に知らせるために再生するメッセージです。

グリーターメッセージ、リマインダーメッセージ、アラートメッセージを使用するには事前に録音する必要があります。

メモ

- メッセージはSDカードに録音されます。メッセージを使用する際は必ずSDカードを挿入してください。

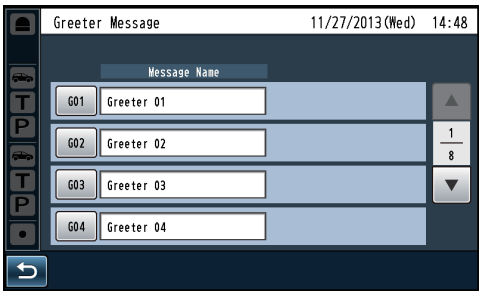
メッセージ番号について

メッセージはメッセージ番号で管理します。メッセージ番号の先頭にはメッセージの種別を表す以下の文字が表示されます。
G：グリーターメッセージ
R：リマインダーメッセージ
A：アラートメッセージ
例)G03：グリーターメッセージの３番目のメッセージを表します。

■メッセージを録音する

ここではグリーターメッセージの録音を例に説明します。リマインダーメッセージやアラートメッセージも同様の手順で録音することができます。

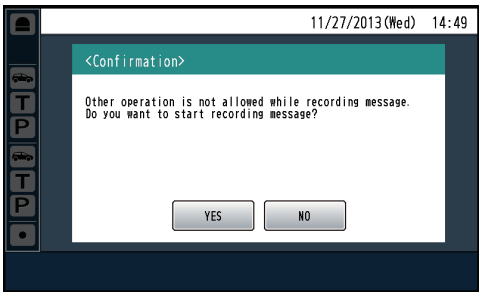
1 設定メニュー画面→ [Message] ボタン→ [Greeter Message] ボタン→ [Message] ボタンの順にタッチします。



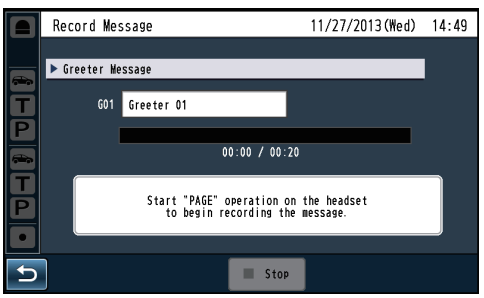
2 メッセージ一覧から録音するメッセージ番号のボタンをタッチします。

3 [REC] ボタンをタッチします。

- 次の確認ポップアップ画面が表示されます。メッセージ録音中は他の操作はできませんので、録音を続ける場合は [YES] ボタンをタッチします。録音を中止する場合は [NO] ボタンをタッチします。



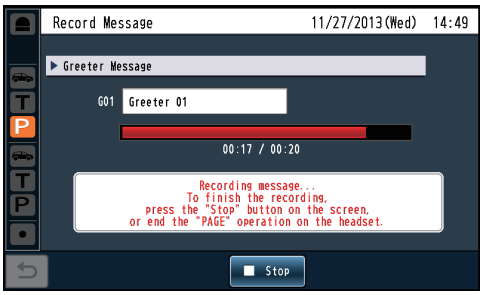
- [YES] ボタンをタッチすると、次の画面が表示されます。



メッセージの設定を行う [Message]

4 **子機でページを行い、録音を開始します。**

- 画面指示にしたがって、レーンAの子機でページ操作を行うとビープ音が鳴動し、録音が開始します。

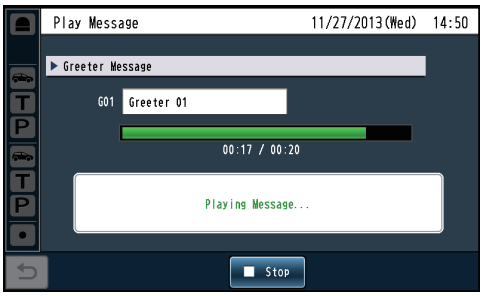


メモ

- メッセージの最大録音時間は20秒です。最大録音時間に達すると強制的に録音を終了します。
- 録音以外の操作は無効になります。ただし、セキュリティアラートが発生した場合は即座に録音を中断します。
- 複数の子機でページを行うとページ音声がミキシングされて録音されます。

5 **録音を停止します。**

- 全ての子機でページを終了するか、画面の [Stop] ボタンをタッチすると録音を終了します。
- 録音を停止すると録音した内容をレーンAの子機に自動的に再生します。

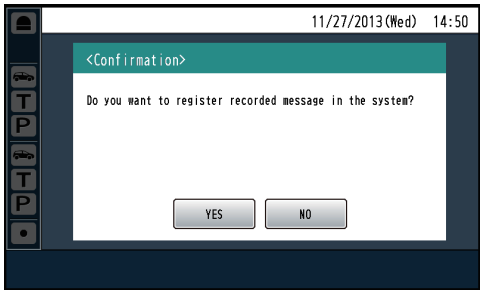


メモ

- 画面の [Stop] ボタンをタッチして録音を終了すると、ページは継続します。

6 **録音した音声をメッセージに登録します。**

- 録音を終了すると登録確認画面が表示されます。



- [YES] ボタンをタッチすると録音した音声がメッセージに登録されます。同じメッセージ番号に録音済みメッセージがある場合は、上書き保存します。
- [NO] ボタンをタッチすると録音した内容を破棄します。

メモ

- 録音メッセージはG.726音源ファイルでSDカードに保存されます。パソコンで再生する場合はG.726のコーデックあるいは再生ソフトが必要です。
  フォルダ：<SDカードルート>¥PRIVATE¥PANA_GRP¥PSN¥DWCS¥MESSAGE
  音源ファイル名：○○_MSG△△.wav
  （○○はGR：グリーター /RM：リマインダー /AL：アラート、△△はメッセージ番号01-30）

メッセージの設定を行う [Message]

■メッセージを確認再生する

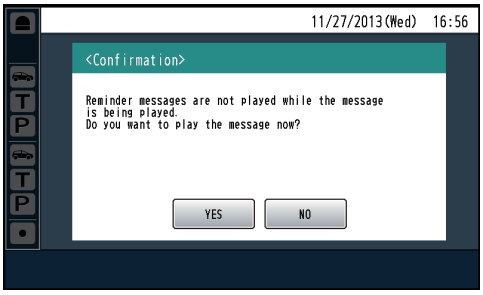
メッセージの内容を確認するため、メッセージをレーンAの子機に再生します。
ここではグリーターメッセージの確認再生を例に説明します。リマインダーメッセージやアラートメッセージも同様の手順で確認再生することができます。

1 **設定メニュー画面→ [Message] ボタン→ [Greeter Message] ボタン→ [Message] ボタンの順にボタンをタッチします。**

2 **メッセージ一覧から再生するメッセージ番号のボタンをタッチします。**

3 **[Play] ボタンをタッチします。**

- 次の確認ポップアップ画面が表示されます。メッセージ再生中はリマインダーメッセージの再生はできませんので、再生を続ける場合は [YES] ボタンをタッチします。再生を中止する場合は [NO] ボタンをタッチします。



- [YES] ボタンをタッチするとメッセージが再生されます。

メモ

- SDカードが挿入されていない場合やメッセージが録音されていない場合は [Play] ボタンをタッチすることはできません。

メッセージの設定を行う [Message]

■グリーターメッセージの設定を行う

来客に対して「挨拶」に相当する音声メッセージを伝える機能です。車両感知器が車を感知するとオーダーポストから自動的にグリーターメッセージを流します。

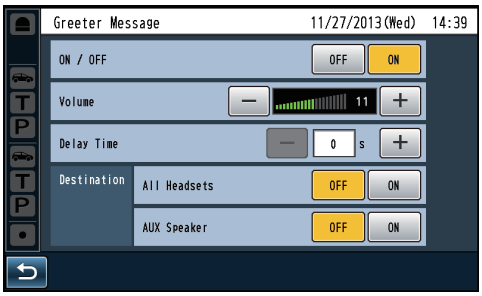
メモ

- グリーターメッセージに関する設定はレーンA、レーンBともに共通です。設定を変更した場合は、両レーンに反映されます。

グリーターメッセージの全体設定を行う

グリーターメッセージ全体の設定を行います。

1 設定メニュー画面→ [Message] ボタン→ [Greeter Message] ボタン→ [Common] ボタンの順にタッチします。



[ON/OFF]
グリーターメッセージを使用するかどうかを設定します。
OFF：グリーターメッセージを再生しません。
ON： グリーターメッセージを再生します。
初期設定：ON

[Volume]
グリーターメッセージのボリュームを設定します。
ボリュームは0～20の範囲で設定できます。
初期設定：11

[Delay Time]
車両感知器が車を感知してからグリーターメッセージを再生するまでの遅延時間を設定します。
遅延時間は0～10秒の範囲で1秒単位で設定できます。
初期設定：0秒

[Destination]
グリーターメッセージ再生時、オーダーポストスピーカーの他に再生する放送先を選択します。

- [All Headsets]
  OFF：どの子機にも放送しません。
  ON： 全ての子機に放送します。
  初期設定：OFF
- [AUX Speaker]
  OFF：キッチンスピーカーには放送しません。
  ON： キッチンスピーカーに放送します。
  初期設定：OFF

メモ

- ON設定時は、車両を感知したレーンと同じレーンの子機とキッチンスピーカーにグリーターメッセージが放送されます。

メッセージの設定を行う [Message]

グリーターメッセージの個別設定を行う

グリーターメッセージ個別の設定を行います。グリーターメッセージは最大30メッセージまで使用することができます。

1 **設定メニュー画面→ [Message] ボタン→ [Greeter Message] ボタン→ [Message] ボタンの順にタッチします。**

2 **メッセージ一覧から設定するメッセージ番号のボタンをタッチします。**

3 **グリーターメッセージの設定を行います。**

[Message Name]
[Edit] ボタンをタッチしてメッセージ名の編集を行います。(英数字記号最大18文字以内)
初期設定：Greeter nn（nn：メッセージ番号01 ～ 30）

4 **[Set] ボタンをタッチします。**

- グリーターメッセージの設定が反映されます。

グリーターメッセージのスケジュール設定を行う

グリーターメッセージのスケジュールを設定します。自動的にグリーターメッセージを切り換え、時間帯に応じて異なるグリーターメッセージを再生することができます。

重要

- スケジュール設定を行わないと、車両感知器が車を感知してもグリーターメッセージを再生しません。グリーターメッセージを使用するには必ずスケジュール設定を行ってください。
- グリーターメッセージのスケジュール設定よりもストアアワーズの設定が優先されます。

1 **設定メニュー画面→ [Message] ボタン→ [Greeter Message] ボタン→ [Schedule] ボタンの順にタッチします。**

- 曜日選択画面が表示されます。

2 **スケジュールを登録する、曜日ボタンをタッチします。**

- 選択した曜日のスケジュール一覧が表示されます。

スケジュール番号ボタン：
設定済みのスケジュールを編集します。
[Add] ボタン：
新規にスケジュールを追加します。
[Copy To] ボタン：
選択した曜日のスケジュールを全て他の曜日にコピーします。
[All Clear] ボタン：
選択した曜日のスケジュールを全て削除します。

メモ

- 最大12のスケジュールを登録することができます。
- 表示中のスケジュールを他の曜日にコピーすることができます。「スケジュールをコピーするには」(30ページ) を参照してください。
- 表示中のスケジュールを全て削除する事ができます。「曜日のスケジュールを削除するには」(31 ページ) を参照してください。

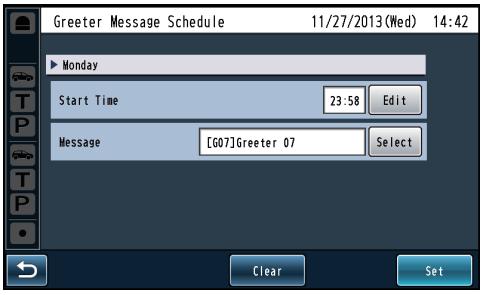
重要

- 00:00から最初のスケジュールが設定されている時刻までは車両感知器が車を感知してもグリーターメッセージを再生しません。

メッセージの設定を行う [Message]

3 スケジュールの設定を行います。

- 新規にスケジュールを追加する場合は [Add] ボタンをタッチします。
- 設定済みのスケジュールを編集する場合はスケジュール番号のボタンをタッチします。

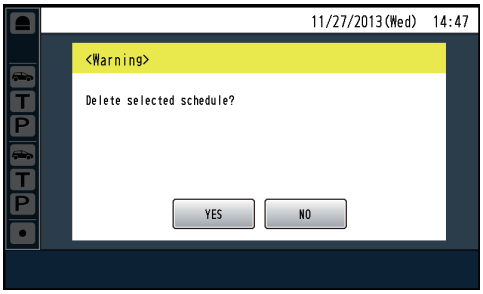


[Start Time]
[Edit] ボタンをタッチしてグリーターメッセージの切り換え時刻を設定します。00:00 ～ 23:59 の分単位で設定できます。

[Message]
[Select] ボタンをタッチして設定時刻以降に再生するグリーターメッセージを選択します。

メモ

- 選択中のスケジュールを削除するには [Clear] ボタンをタッチします。[Clear] ボタンをタッチすると次の確認ポップアップ画面が表示されます。選択中のスケジュールを削除する場合は [YES] ボタンをタッチします。削除せずに戻る場合は [NO] ボタンをタッチします。

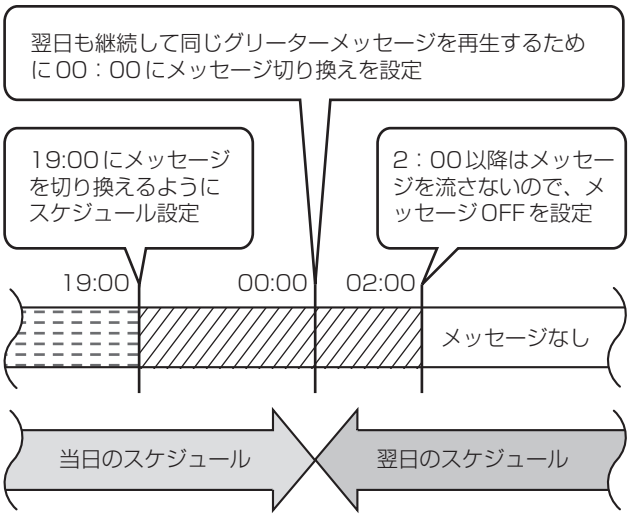


4 [Set] ボタンをタッチします。

- 設定した内容がスケジュールに反映されます。

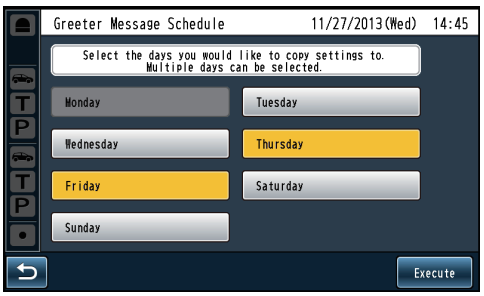
注意

- グリーターメッセージのスケジュール設定は日またぎしません。日をまたいで同じメッセージを再生したい場合は、翌日の 00：00 にも同じスケジュール設定を行ってください。



スケジュールをコピーするには

表示中のスケジュールを他の曜日にコピーすることができます。[Copy to] ボタンをタッチすると曜日選択画面が表示されます。



コピー先の曜日を選択して、[Execute] ボタンをタッチします。
選択した曜日にスケジュールがコピーされます。

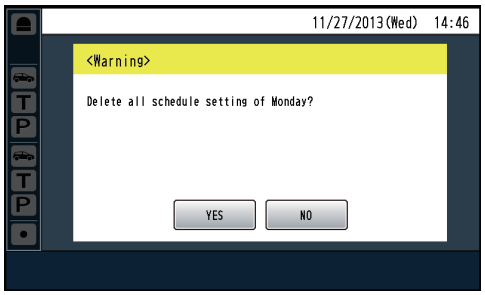
メモ

- コピー先の曜日は複数選択することができます。

メッセージの設定を行う [Message]

曜日のスケジュールを削除するには

表示中のスケジュールを全て削除することができます。[All Clear] ボタンをタッチすると次の確認ポップアップ画面が表示されます。スケジュールを全て削除する場合は [YES] ボタンをタッチします。削除せずに戻る場合は [NO] ボタンをタッチします。



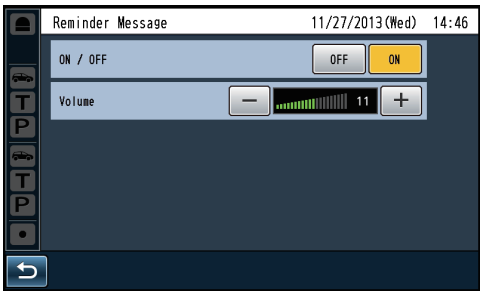
■リマインダーメッセージの設定を行う

あらかじめ設定したスケジュールにしたがって、リマインダーメッセージを再生します。定刻に従業員へ作業指示を行うときなどに使用します。

リマインダーメッセージの全体設定を行う

リマインダーメッセージ全体の設定を行います。

1 設定メニュー画面→ [Message] ボタン→ [Reminder Message] ボタン→ [Common] ボタンの順にタッチします。



[ON/OFF]
リマインダーメッセージを使用するかどうかを設定します。
OFF：リマインダーメッセージを再生しません。
ON： リマインダーメッセージを再生します。
初期設定：ON

[Volume]
リマインダーメッセージのボリュームを設定します。
ボリュームは 0 ～ 20 の範囲で設定できます。
初期設定：11

リマインダーメッセージの個別設定を行う

リマインダーメッセージ個別の設定を行います。リマインダーメッセージは最大 30 メッセージまで使用することができます。

1 設定メニュー画面→ [Message] ボタン→ [Reminder Message] ボタン→ [Message] ボタンの順にタッチします。

2 メッセージ一覧から設定するメッセージ番号のボタンをタッチします。

3 リマインダーメッセージの設定を行います。

[Message Name]
[Edit] ボタンをタッチしてメッセージ名の編集を行います。(英数字記号最大 18 文字以内)
初期設定: Reminder nn (nn：メッセージ番号 01～30)

[Destination]
リマインダーメッセージの放送先を選択します。

- [Group]
  [Select] ボタンをタッチして放送先の子機を選択します。
  All Headsets：全ての子機に放送します。
  Group 番号： 選択したグループに属する子機に放送します。
  初期設定：All Headsets

メモ
- Group 番号は 1 ～ 6 から選択します。複数選択することができます。

- [AUX Speaker]
  リマインダーメッセージをキッチンスピーカーに出力するかどうかの設定を行います。
  OFF：キッチンスピーカーに出力しません。
  ON： キッチンスピーカーに出力します。
  初期設定：ON

4 [Set] ボタンをタッチします。
- リマインダーメッセージの設定が反映されます。

メッセージの設定を行う [Message]

リマインダーメッセージのスケジュール設定を行う

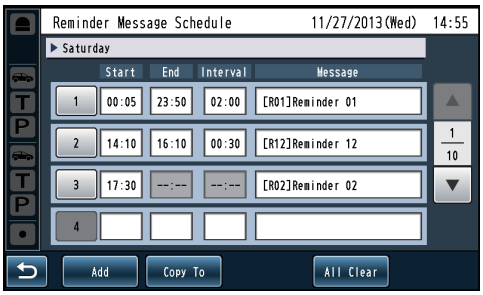
リマインダーメッセージのスケジュールを設定します。定刻に対象のグループに対してリマインダーメッセージを再生することができます。

1 **設定メニュー画面→ [Message] ボタン→ [Reminder Message] ボタン→ [Schedule] ボタンの順にタッチします。**

- 曜日選択画面が表示されます。

2 **スケジュールを登録する、曜日ボタンをタッチします。**

- 選択した曜日のスケジュール一覧が表示されます。



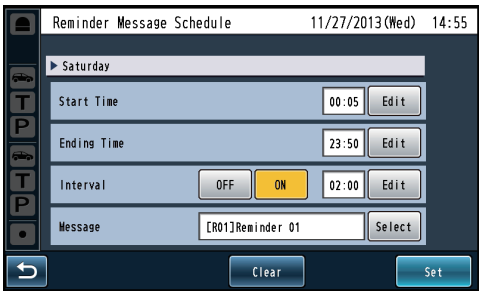
スケジュール番号ボタン：
設定済みのスケジュールを編集します。
[Add] ボタン：
新規にスケジュールを追加します
[Copy To] ボタン：
選択した曜日のスケジュールを全て他の曜日にコピーします。
[All Clear] ボタン：
選択した曜日のスケジュールを全て削除します。

メモ

- 最大40のスケジュールを登録することができます。
- 表示中のスケジュールを他の曜日にコピーすることができます。「スケジュールをコピーするには」(30ページ) を参照してください。

3 **スケジュールの設定を行います。**

- 新規にスケジュールを追加する場合は [Add] ボタンをタッチします。
- 設定済みのスケジュールを編集する場合はスケジュール番号のボタンをタッチします。



[Start Time]
[Edit] ボタンをタッチしてリマインダーメッセージの再生時刻を設定します。00:00 ～ 23:59の分単位で設定できます。

[Ending Time]
[Edit] ボタンをタッチしてリマインダーメッセージの繰り返し再生時の終了時刻を設定します。00:00 ～ 23:59の分単位で設定できます。
Interval設定をONにすると設定することができます。

[Interval]
リマインダーメッセージを繰り返し再生するかどうかの設定を行います。
OFF：開始時刻に一度だけ再生します。
ON： 開始時刻から定間隔でリマインダーメッセージを繰り返し再生します。
Interval設定がONの時、繰り返し間隔を設定します。
[Edit] ボタンをタッチして繰り返し間隔を設定します。
繰り返し間隔は00:01 ～ 23:59の分単位で設定できます。

[Message]
[Select] ボタンをタッチして設定時刻以降に再生するリマインダーメッセージを選択します。

メモ

- 開始時刻と終了時刻が同じ場合は、開始時刻に1回だけ再生します。
- 繰り返し間隔が開始時刻と終了時刻の差より長い場合は、開始時刻に1回だけ再生します。

メッセージの設定を行う [Message]

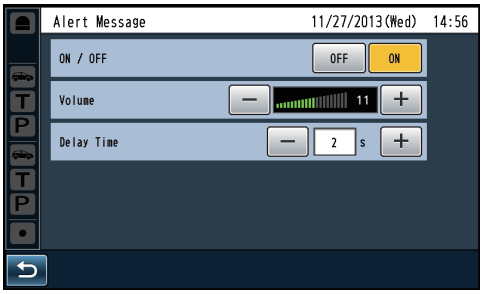
■アラートメッセージの設定を行う

セキュリティアラートが発生した時に従業員に注意を促すアラートメッセージに関する設定を行います。
セキュリティアラート発生時の動作は「セキュリティアラートの設定を行う [Security Alert]」(34ページ) を参照してください。

アラートメッセージの全体設定を行う

アラートメッセージ全体の設定を行います。

1 設定メニュー画面→ [Message] ボタン→ [Alert Message] ボタン→ [Common] ボタンの順にタッチします。



[ON/OFF]
アラートメッセージを使用するかどうかを設定します。
OFF：アラートメッセージを再生しません。
ON： アラートメッセージを再生します。
初期設定：ON

[Volume]
アラートメッセージのボリュームを設定します。
ボリュームは0～20の範囲で設定できます。
初期設定：11

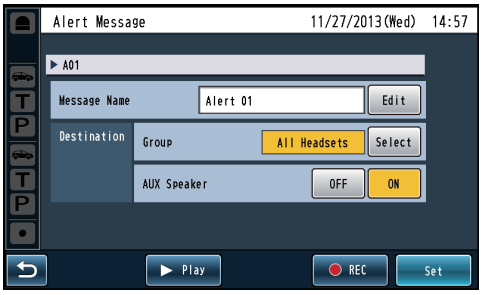
[Delay Time]
アラート発生からメッセージ再生開始までの遅延時間を設定します。
遅延時間は0秒～ 10秒の範囲で1秒単位で設定できます。
初期設定：0秒

アラートメッセージの個別設定を行う

アラートメッセージ個別の設定を行います。アラートメッセージは最大30メッセージまで使用することができます。

1 設定メニュー画面→ [Message] ボタン→ [Alert Message] ボタン→ [Message] ボタンの順にタッチします。

2 メッセージ一覧から設定するメッセージ番号のボタンをタッチします。



3 アラートメッセージの設定を行います。

[Message Name]
[Edit] ボタンをタッチしてメッセージ名の編集を行います。(英数字記号最大18文字以内)
初期設定：Alert nn（nn：メッセージ番号01 ～ 30）

[Destination]
アラートメッセージの放送先を選択します。

- **[Group]**
  [Select] ボタンをタッチして放送先の子機を選択します。
  All Headsets：全ての子機に放送します。
  Group番号： 選択したグループに属する子機に放送します。
  初期設定：All Headsets

メモ
- Group番号は1 ～ 6から選択します。複数選択することができます。

- **[AUX Speaker]**
  アラートメッセージをキッチンスピーカーに出力するかどうかの設定を行います。
  OFF：キッチンスピーカーに出力しません。
  ON： キッチンスピーカーに出力します。
  初期設定：ON

4 [Set] ボタンをタッチします。
- アラートメッセージの設定が反映されます。

セキュリティアラートの設定を行う [Security Alert]

子機のFボタンやアラート入力1～4でセキュリティアラート通知を受け取った時の動作を設定します。
セキュリティアラート発生時の動作は以下から選択することができます。

アラートメッセージの再生

セキュリティアラートが発生している間、アラートメッセージを5秒間隔で繰り返し再生します。

NWカメラモニタリング

セキュリティアラートが発生している間、NWカメラの映像を液晶画面に出力します。事前にブラウザからNWカメラの設定を行う必要があります。詳しくは、取扱説明書ブラウザ編をお読みください。

メモ

- セキュリティアラートに連動して液晶画面にネットワークカメラの映像を表示すると、表示された映像に赤の枠が表示されます。

外部制御出力

セキュリティアラートが発生している間、外部制御出力端子を制御します。外部機器を制御するときに使用します。

通話記録

セキュリティアラートが発生している間、子機が所属しているレーンの通話音声（トーク[TALK]、ページ[PAGE]）をSDカードに録音します。最大5分間録音することができます。子機のFボタンによるセキュリティアラートのみ選択できます。

E-mail送信

アラート発生、終了のタイミングでメールを送信します。セキュリティアラート発生時にメールを送信するにはブラウザで設定を行ってください。詳しくは、取扱説明書 ブラウザ編をお読みください。

1 設定メニュー画面→[Security Alert]ボタンの順にタッチします。

- セキュリティアラートの発生種別が表示されます。

[F Button]
子機のFボタン押下によるセキュリティアラート発生時の動作を設定します。

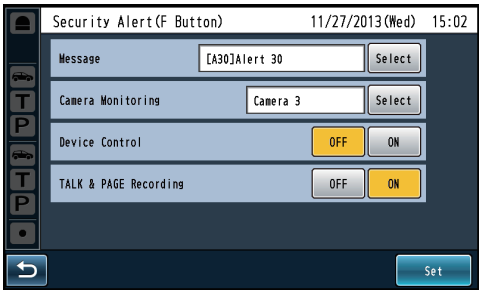
メモ

- Fボタンによるセキュリティアラートは発生後2分を経過すると自動的に終了します。セキュリティアラート発生中に、再度Fボタンによるセキュリティアラート通知を受信すると終了までの時間を2分間延長します。

[Alert 1～4]
アラート入力端子1～4によるセキュリティアラート発生時の動作を設定します。

2 セキュリティアラート発生時の動作を設定します。

[F Button]を選択した場合



[Message]
[Select]ボタンをタッチしてセキュリティアラート発生時に再生するアラートメッセージを選択します。
OFF： アラートメッセージを再生しません。
メッセージ番号： 選択したアラートメッセージを再生します。
初期設定：OFF

[Camera Monitoring]
[Select]ボタンをタッチしてセキュリティアラート発生時に液晶画面に表示するネットワークカメラを選択します。
OFF： ネットワークカメラの映像を表示しません。
カメラ番号： 選択したネットワークカメラの映像を液晶画面に表示します。
初期設定：OFF

セキュリティアラートの設定を行う [Security Alert]

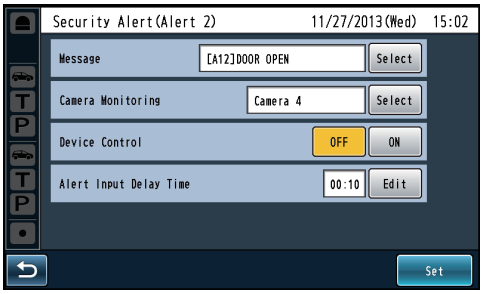
[Device Control]
外部制御出力を制御するかどうかを設定します。
OFF：外部制御出力を制御しません。
ON： 外部制御出力を制御します。
初期設定：OFF

[TALK & PAGE Recording]
セキュリティアラートが発生したレーンの通話音声（トーク [TALK]、ページ [PAGE]）をSDカードに録音します。
OFF：通話音声を録音しません。
ON： 通話音声を録音します。
初期設定：OFF

メモ

- 通話録音は最大５分まで録音することができます。
- 通話録音の最大件数は100件です。100件を超えると一番古い録音ファイルを上書きします。
- 録音できる時間はSDカードの容量に依存します。SDカードの残容量が５分間に満たない場合は、録音件数が100件に達していなくても一番古い録音ファイルを削除し、空き容量を増やします。その後、容量が許す限り録音します。
- 通話録音時に保存された音声はSDカードに「YYYYMMDD_hhmmss_“LANE”_nn(_D).wav」のファイル名で保存されます。（YYYYMMDD_hhmmssはそれぞれセキュリティアラートが発生したYYYY：年、MM：月、DD：日、hh：時、mm：分、ss:秒を表します。また、“LANE”はセキュリティアラートが発生したレーンを表します）
  サマータイム中に通話録音したときは、ファイル名に“_D”が追加されます。
- 音声ファイルの保存先は「SDカードのフォルダ構成について」（38ページ）を参照してください。

[Alert 1～4]（アラート入力端子）を選択した場合



[Message]
[Select]ボタンをタッチしてセキュリティアラート発生時に再生するアラートメッセージを選択します。
OFF： アラートメッセージを再生しません。
メッセージ番号：選択したアラートメッセージを再生します。
初期設定：OFF

[Camera Monitoring]
[Select] ボタンをタッチしてセキュリティアラート発生時に液晶画面に表示するネットワークカメラを選択します。
OFF： ネットワークカメラの映像を表示しません。
カメラ番号：選択したネットワークカメラの映像を液晶画面に表示します。
初期設定：OFF

[Device Control]
外部制御出力を制御するかどうかを設定します。
OFF：制御しない
ON： 制御する
初期設定：OFF

[Alert Input Delay Time]
[Edit] ボタンをタッチしてアラート入力端子が制御されてからセキュリティアラート状態になるまでの遅延時間を設定します。遅延時間中にアラート入力が解除されればアラート状態になりません。
0秒～29分59秒の範囲を1秒単位で設定できます。
初期設定：00：00（00分00秒）

SDカードを操作する [SD Memory Card]

SDカードに現在の設定、メッセージをバックアップすることができます。また、バックアップした設定、メッセージを復元（リストア）することができます。

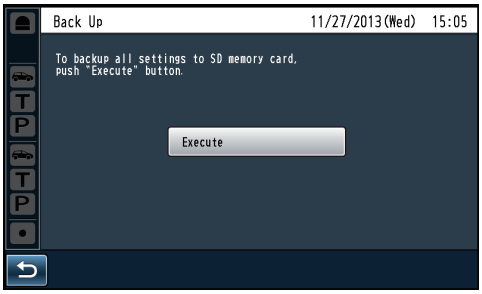
重要

- SDカードアクセスLED点滅中はSDカードや電源プラグを抜いたり、リセットボタンを押したりしないでください。データが破壊されることがあります。

■設定データとメッセージをバックアップする

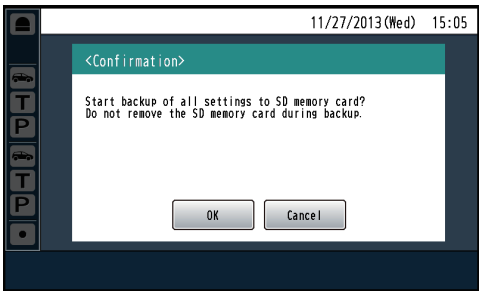
現在の設定とメッセージをSDカードへバックアップする機能です。

1 設定メニュー画面→ [SD Memory Card] ボタン→ [Back Up] ボタンの順にタッチします。

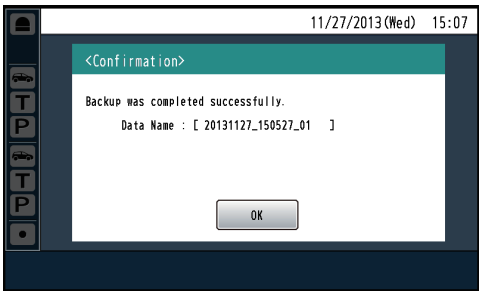


2 [Execute] ボタンをタッチします。

- 次の確認ポップアップ画面が表示されます。バックアップを続ける場合は [OK] ボタンをタッチします。バックアップを中止する場合は [Cancel] ボタンをタッチします。



- [OK] ボタンをタッチするとバックアップが開始されます。正常にバックアップが完了すると、完了ポップアップ画面が表示されます。



- SDカードのBACKUPフォルダに「Data Name」で記された名前のフォルダが作成され、バックアップしたデータが保存されます。

メモ

- SDカードのフォルダ構成については「SDカードのフォルダ構成について」(38ページ) を参照してください。

SDカードを操作する [SD Memory Card]

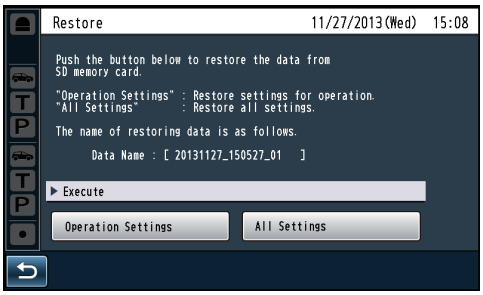
■ バックアップデータをリストアする

SDカードにバックアップしたデータを復元する機能です。

1 設定メニュー画面→ [SD Memory Card] ボタン→ [Restore] ボタンの順にタッチします。

- バックアップデータが一覧で表示されます。

2 リストアするデータボタンをタッチします。



3 リストアの種別を選択します。

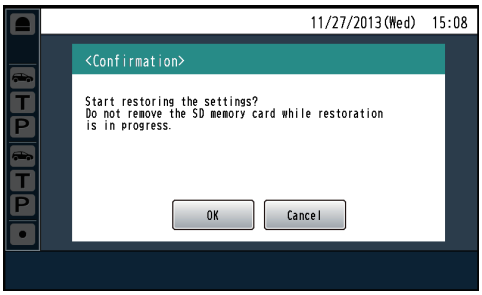
以下のいずれかのボタンをタッチしてリストアの種別を実行します。

[Operation Settings]
次の設定を本機に反映します。季節ごとの設定差し替えや他店舗からの設定を流用する際に使用します。
・子機グループ設定
・ナイトタイムボリューム設定
・ストアアワーズ設定
・各種音量設定
・DSP設定
・各種メッセージ設定

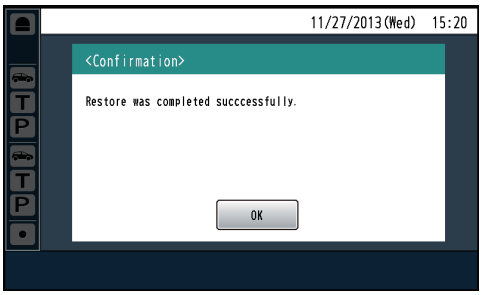
[All Settings]
ネットワーク設定、NWカメラ設定などを含む全ての設定を本機に反映します。故障時など、故障前の設定に戻したいときに使用します。

[Operation Settings] の場合

- 次の確認ポップアップ画面が表示されます。リストアを実行するには [OK] ボタンをタッチします。リストアを中止する場合は [Cancel] ボタンをタッチします。

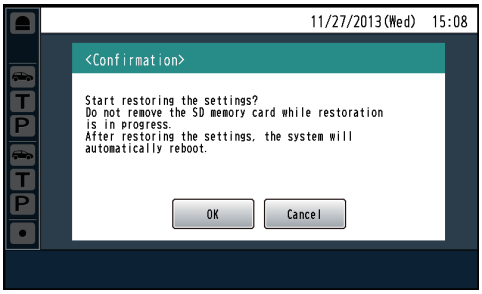


- [OK] ボタンをタッチするとリストアが開始されます。正常にリストアが完了すると、完了ポップアップ画面が表示されます。



[All Settings] の場合

- 次の確認ポップアップ画面が表示されます。リストアを実行するには [OK] ボタンをタッチします。リストアを中止する場合は [Cancel] ボタンをタッチします。



- [OK] ボタンをタッチするとリストアが開始されます。リストアを実行すると、自動的に再起動します。

メモ

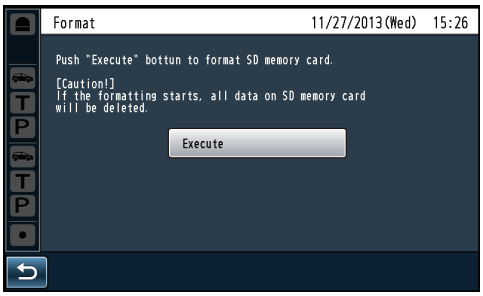
- リストア前に使用していたSDカード上のメッセージ用音源ファイルは削除され、リストアデータに含まれる音源ファイルに置き換わります。必要に応じてバックアップしてください。
- 子機登録情報やレピーター登録情報はリストアされません。
- 「All Settings」でリストアを実行すると、自動的に再起動します。

SDカードを操作する [SD Memory Card]

■SDカードをフォーマットする

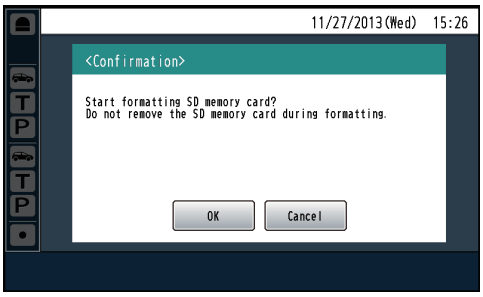
SDカードをフォーマットする機能です。パソコンなど他の機器でフォーマットされたSDカードは、本機で使用できない場合があります。必ず本機でフォーマットしてからご使用ください。

1 **設定メニュー画面→ [SD Memory Card] ボタン→ [Format] ボタンの順にボタンをタッチします。**

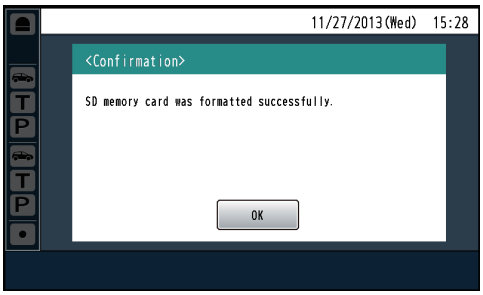


2 **[Execute] ボタンをタッチします。**

- 次の確認ポップアップ画面が表示されます。フォーマットを実行する場合は [OK] ボタンをタッチします。フォーマットを中止する場合は [Cancel] ボタンをタッチします。



- [OK] ボタンをタッチすると、SDカードのフォーマットを実行します。正常にフォーマットが完了すると、完了ポップアップ画面が表示されます。

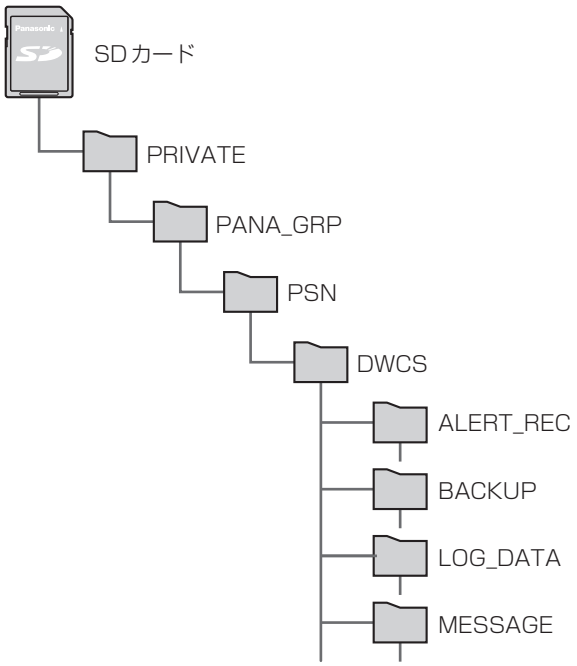


重要

- フォーマットすると、SDカードに記録されているデータは全て消去され、元に戻すことができません。大切なデータは事前にパソコンなどに保存してください。

SDカードのフォルダ構成について

本機にSDカードを挿入するとSDカードに以下のフォルダが作成されます。



[DWCS] フォルダ
本機のルートフォルダです。このフォルダ以下に本機が使用する各種データが配置されます。

[ALERT_REC] フォルダ
子機からのセキュリティアラート発生時に通話録音された音源ファイルが保存されます。

[BACKUP] フォルダ
バックアップしたデータがフォルダ単位で保存されます。リストア実行時はこのフォルダにあるデータをリストアします。

[LOG_DATA] フォルダ
メンテナンス時に使用するフォルダです。

[MESSAGE] フォルダ
メッセージ用の音源ファイルが保存されます。

重要

- パソコンでフォルダやファイルを削除したり、名前を変更しないでください。

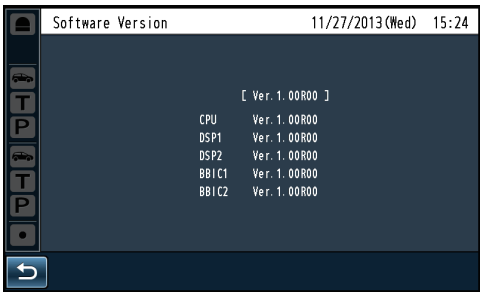
メンテナンスを行う [Maintenance]

センターモジュールのソフトウェアバージョンを確認したり、工場出荷状態にすることができます。

■ソフトウェアバージョンを表示する

センターモジュールのソフトウェアバージョンを表示します。

1 設定メニュー画面→[Maintenance] ボタン→[Software Version] ボタンの順にタッチします。

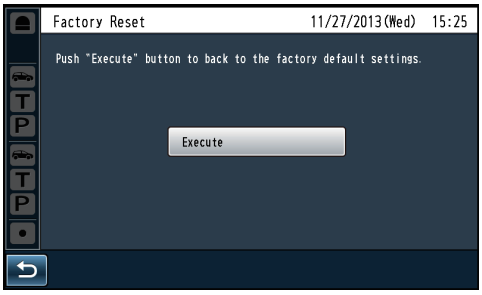


※シングルレーンの場合はDSP2、BBIC2は表示されません。

■設定データの初期化を行う

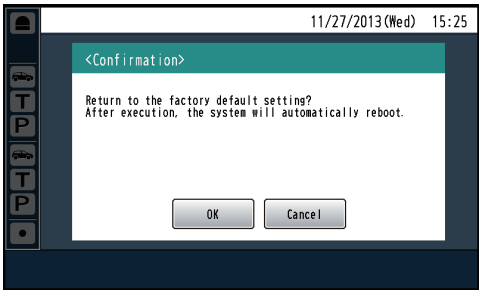
設定を工場出荷状態に戻す機能です。子機の登録情報やメッセージを含むデータを初期化します。日時の設定は初期化されません。

1 設定メニュー画面→[Maintenance] ボタン→[Factory Reset] ボタンの順にタッチします。



2 [Execute] ボタンをタッチします。

- 次の確認ポップアップ画面が表示されます。初期化を実行する場合は [OK] ボタンをタッチします。初期化フォーマットを中止する場合は [Cancel] ボタンをタッチします。



- [OK] ボタンをタッチすると初期化を実行します。

メモ

- 初期化完了後は自動的に再起動します。
- 日時の設定は初期化されません。

ポップアップメッセージについて

液晶画面に表示される代表的なポップアップメッセージと、その原因と対処方法について説明します。

分　類	文　言	原因・対策
Confirmation	SD card was read successfully.	SDカード挿入時、正常にSDカードの読み込みできたときに表示されます。
	Password was changed successfully.	パスワードが正常に変更されたときに表示されます。
	Mail transmission process accepted.	ヘルプコンタクト画面で実行したメール送信処理を受け付けたときに表示されます。
	Recording was stopped because the “PAGE” function has not been activated for a certain time.	メッセージ録音において一定時間PAGEが開始されなかったときに表示されます。再度、録音操作を行ってください。
Warning	Authentication failed. Please reconfirm your password.	パスワード認証に失敗したときに表示されます。正しいパスワードを入力してください。
	Settings have not been saved. Continue without saving?	設定変更や入力した内容を確定せず（[Set]ボタンや[Enter]ボタンをタッチせず）に戻るボタンをタッチしたときに表示されます。確定せずに画面を遷移する場合は[YES]ボタンをタッチします。元の画面に戻る場合は[NO]ボタンをタッチします。
	No SD memory card is inserted.	SDカードが未挿入状態でSDカードにアクセスする操作を行ったときに表示されます。SDカードを挿入し、再度実行してください。
	The system failed to find the data on SD memory card.	SDカードからデータを読み込む操作を行ったときに対象のデータが存在しない場合に表示されます。
	SD memory card is write-protected.	SDカード挿入時や書き込み操作を行ったときにLOCK（書き込み禁止）に設定されていた場合に表示されます。SDカードのLOCKを解除してご使用ください。
	SD memory card was removed.	SDカードが抜かれたときに表示されます。
	Date & time is not correct. Please set current date & time.	現在日時が設定されていないときに表示されます。設定メニューから現在日時の設定を行ってください。
	Security alert has occurred. Process was terminated.	メッセージ録音中や確認再生中にセキュリティアラートが発生したときに表示されます。このとき、録音や再生は途中で中断されます。
	Processes are terminated during security alerts.	セキュリティアラート発生中にメッセージ録音や確認再生を行ったときに表示されます。セキュリティアラート発生中はこれらの操作を受け付けません。
	The message playback was stopped for the following reason: Alert V/Det: ON TALK PAGE	レーンAのセキュリティアラート、車両感知器入力、TALK、PAGEにより、確認再生を中止したときに表示されます。
	Message playback cannot be performed under the following conditions. Alert V/Det: ON TALK PAGE	レーンAのセキュリティアラート、車両感知器入力、TALK、PAGEのいずれかが発生中に、確認再生の操作を行った場合に表示されます。この状態では確認再生を行うことはできません。

ポップアップメッセージについて

分　類	文　言	原因・対策
Warning	No headset is registered.	登録されている子機がいない状態でグループ設定や子機の削除を行ったときに表示されます。
Error	Unable to set the password. Please check the following: - The “Old Password” has been entered correctly. - The “New Password” and “Old Password” are not the same. - The same passwords have been entered for “New Password” and “Confirm New Password”.	パスワードの変更に失敗したときに表示されます。以下の内容を確認して、再度パスワードを変更して下さい。 ● 現在のパスワードが正しいこと ● 現在のパスワードと新しいパスワードが異なっていること ● 新しいパスワードと確認のため入力した新しいパスワードが一致していること
	An error has been found. Please check settings again	設定画面で [Set] ボタンをタッチしたとき、設定に誤りがあるとき場合に表示されます。設定内容に不備がないか確認して下さい。
	Message playback has failed. Please try again later.	メッセージの確認再生に失敗したときに表示されます。時間を置いて再度再生操作を行ってください。
	Message recording has failed. Please try again later.	メッセージの録音に失敗したときに表示されます。時間を置いて再度録音操作を行ってください。
	Processing has not been executed. Please try again later.	実行中の処理が失敗したときに表示されます。時間を置いて再度同じ操作を行ってください。
	Not enough free space on SD memory card. Process aborted.	SDカードの容量が不足している状態でデータ保存を行ったときに表示されます。PCで空き容量を増やすかフォーマットを実施してから、再度実行してください。
	Data error on SD memory card. Process aborted.	SDカードからデータを読み込む操作を行ったときに対象データにエラーがあった場合に表示します。データの読み込み処理を中止します。
	The system failed to read the data from SD memory card.	SDカードからデータの読み込みに失敗したときに表示されます。
	The system failed to write the data on SD memory card.	SDカードへデータの書き込みに失敗したときに表示されます。
	SD memory card format error.	SDカードのフォーマットが不正のときに表示されます。本機でフォーマットしてください。
	Fatal error has occurred on ***.	***（デバイス）に故障が発生したときに表示されます。再起動しても発生する場合は販売店にご連絡ください。
	The system failed to read the Flash memory device.	内部メモリからの読み込みが失敗したときに表示されます。再起動しても発生する場合は販売店にご連絡ください。
	The system failed to write to the Flash memory device.	内部メモリへの書き込みが失敗したときに表示されます。再起動しても発生する場合は販売店にご連絡ください。
	E-mail delivery failure. Please confirm network connection and E-mail settings.	ネットワーク未接続やメール関連の設定が未設定のため、メール送信に失敗したときに表示されます。

故障かな！？

修理を依頼される前に、この表で現象を確かめてください。

これらの対策をしても直らないときやわからないとき、この表以外の現象が起きたときまたは工事に関係する内容のときは、お買い上げの販売店にご相談ください。

現　象	原因・対策	参照ページ
オーダーポスト、ベルトパック、オールインワンヘッドセット間の通信ができない。	● **電源コードが本機の電源入力端子および電源コンセントに確実に接続されていますか？** → 接続されているか、確認してください。	取扱説明書 設置編
従業員同士でのページはできるが、オーダーポストにいる顧客とのトークができない。	● **オーダーポストのマイク入力、スピーカー出力が正しく接続されていますか？** → 正しく接続されているか、確認してください。	取扱説明書 設置編
ネックセットのマイクに向かって話すと、ネックセットのイヤホーンからエコーが聞こえる。	● **オーダーポストのスピーカーとマイクが正しく設置されていない可能性があります。** → スピーカーとマイクがお互いに離されていることを確認し、振動を吸収するためにそれぞれをしっかり固定してください。	WX-CS460の 取扱説明書
	● **入出力の音声レベル設定が高すぎる可能性があります。** → オーダーポストへの音声入出力レベル（OUT MIC/OUT SP）を適切なレベルに下げてください。 （入力音声レベルを下げる設定により、フィードバックノイズを防ぐことができます）	P.22
	● **エコーキャンセラーがオフか、もしくはエコーキャンセラーレベルが低い可能性があります。** → エコーキャンセラーのレベルを適切に設定してください。 （初期設定は“MID”です）	P.24
オーダーポストからのノイズが大きい。	● **デジタルノイズリダクションがオフ、もしくはデジタルノイズリダクションレベルが低い可能性があります。** → デジタルノイズリダクションのレベルを適切に設定してください。 （初期設定は“MID”です）	P.24
タッチパネル上のボタンにタッチしても反応しない。	● **タッチパネルが汚れていませんか？** → タッチパネルのお手入れを行って下さい。 お手入れをしても改善しない場合には、タッチパネルの調整をしてください。	取扱説明書 設置編
タッチパネル上のボタンにタッチしても別のボタンが反応する。	● **タッチパネルの調整が必要です。** → タッチパネルの調整をしてください。	P.12
通話が途切れる、または、ほとんど聞こえない。	● **子機が本機から離れすぎている、または製品の間にコンクリートの壁、金属の機器などの障害物がありませんか？** → 販売店に連絡して、本機を障害物に囲まれていない場所に移動させてください。	― ― ―

故障かな！？

現　象	原因・対策	参照ページ
カメラと通信ができない。	● **カメラが本機に登録されていますか？** →　登録しないと通信できません。接続するカメラを登録してください。	取扱説明書 ブラウザ編
	● **本機のIPアドレスが他機器のIPアドレスと重複していませんか？** →　他機器のIPアドレスと重複している場合、カメラとの通信がうまくいかない場合があります。IPアドレスの重複を改善後、本機を再起動してください。	P.11
正しく操作しても動かない、動作がおかしい。	● **本機の誤動作の可能性があります。** →　本機側面のリセットボタンを先端の細いもので押してください。（設定内容などは消えません）	取扱説明書 設置編

■使いかた・お手入れ・修理などは、まず、お買い求め先へご相談ください。

■その他ご不明な点は下記へご相談ください。

パナソニック　システムお客様ご相談センター

電話 フリーダイヤル 0120-878-410（パナハ ヨイワ）

受付：9時～17時30分　（土・日・祝祭日は受付のみ）

※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

ホームページからのお問い合わせは　https://sec.panasonic.biz/solution/info/

ご使用の回線（IP 電話やひかり電話など）によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。

【ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて】

パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくときのために発信番号を通知いただいております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

パナソニック システムネットワークス株式会社

〒812-8531　福岡市博多区美野島四丁目1番62号

© Panasonic System Networks Co., Ltd. 2014

F0114-0　PGQP1743ZA